

町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（２期工事）

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	建築改修工事特記仕様書（１）	A-26	Iタイプ 天井伏図【21, 22, 23, 24棟】	A-51	23棟 外壁劣化図（２）【Iタイプ】	A-76	23棟【Iタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-02	建築改修工事特記仕様書（２）	A-27	Iタイプ 立面図【21, 22, 23, 24棟】	A-52	24棟 外壁劣化図（１）【Iタイプ】	A-77	24棟【Iタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-03	建築改修工事特記仕様書（３）	A-28	Gタイプ 1階平面図【25, 26, 27, 28棟】	A-53	24棟 外壁劣化図（２）【Iタイプ】	A-78	25棟【Gタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-04	建築改修工事特記仕様書（４）	A-29	Gタイプ 2階平面図、屋根伏図【25, 26, 27, 28棟】	A-54	25棟 外壁劣化図（１）【Gタイプ】	A-79	26棟【Gタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-05	外壁改修フロー及び数量・要領図	A-30	Gタイプ 天井伏図【25, 26, 27, 28棟】	A-55	25棟 外壁劣化図（２）【Gタイプ】	A-80	27棟【Gタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-06	付近見取図、全体配置図	A-31	Gタイプ 立面図【25, 26, 27, 28棟】	A-56	26棟 外壁劣化図（１）【Gタイプ】	A-81	28棟【Gタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-07	【共通】外部仕上表	A-32	Hタイプ 1階平面図【29, 30棟】	A-57	26棟 外壁劣化図（２）【Gタイプ】	A-82	29棟【Gタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-08	全体配置図	A-33	Hタイプ 2階平面図、屋根伏図【29, 30棟】	A-58	27棟 外壁劣化図（１）【Gタイプ】	A-83	30棟【Gタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉
A-09	Bタイプ 平面図、屋根伏図【16棟】	A-34	Hタイプ 天井伏図【29, 30棟】	A-59	27棟 外壁劣化図（２）【Gタイプ】	A-84	アスベスト除去 仮設計画〈参考〉
A-10	Bタイプ 天井伏図【16棟】	A-35	Hタイプ 立面図【29, 30棟】	A-60	28棟 外壁劣化図（１）【Gタイプ】	A-85	現場事務所 仮設計画〈参考〉
A-11	Bタイプ 立面図【16棟】	A-36	16棟 外壁劣化図（１）【Bタイプ】	A-61	28棟 外壁劣化図（２）【Gタイプ】	A-86	浄化槽施設 改修図 建具表 外部仕上表
A-12	Cタイプ 平面図【17棟】	A-37	16棟 外壁劣化図（２）【Bタイプ】	A-62	29棟 外壁劣化図（１）【Hタイプ】	A-87	浄化槽施設 劣化図
A-13	Cタイプ 屋根伏図【17棟】	A-38	17棟 外壁劣化図（１）【Cタイプ】	A-63	29棟 外壁劣化図（２）【Hタイプ】	A-88	浄化槽施設敷地内 現況・撤去図、改修図
A-14	Cタイプ 天井伏図【17棟】	A-39	17棟 外壁劣化図（２）【Cタイプ】	A-64	30棟 外壁劣化図（１）【Hタイプ】		
A-15	Cタイプ 立面図【17棟】	A-40	18棟 外壁劣化図（１）【Dタイプ】	A-65	30棟 外壁劣化図（２）【Hタイプ】		
A-16	Dタイプ 1階平面図【18, 20棟】	A-41	18棟 外壁劣化図（２）【Dタイプ】	A-66	【共通】建具表		
A-17	Dタイプ 2階平面図、屋根伏図【18, 20棟】	A-42	19棟 外壁劣化図（１）【Eタイプ】	A-67	【共通】部分詳細図（１）		
A-18	Dタイプ 天井伏図【18, 20棟】	A-43	19棟 外壁劣化図（２）【Eタイプ】	A-68	【共通】部分詳細図（２）		
A-19	Dタイプ 立面図【18, 20棟】	A-44	20棟 外壁劣化図（１）【Dタイプ】	A-69	16棟【Bタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉		
A-20	Eタイプ 平面図【19棟】	A-45	20棟 外壁劣化図（２）【Dタイプ】	A-70	17棟【Cタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉		
A-21	Eタイプ 屋根伏図【19棟】	A-46	21棟 外壁劣化図（１）【Iタイプ】	A-71	18棟【Dタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉		
A-22	Eタイプ 天井伏図【19棟】	A-47	21棟 外壁劣化図（２）【Iタイプ】	A-72	19棟【Eタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉		
A-23	Eタイプ 立面図【19棟】	A-48	22棟 外壁劣化図（１）【Iタイプ】	A-73	20棟【Dタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉		
A-24	Iタイプ 平面図【21, 22, 23, 24棟】	A-49	22棟 外壁劣化図（２）【Iタイプ】	A-74	21棟【Iタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉		
A-25	Iタイプ 屋根伏図【21, 22, 23, 24棟】	A-50	23棟 外壁劣化図（１）【Iタイプ】	A-75	22棟【Iタイプ】配置図兼仮設計画図〈参考〉		

		作成	承認		工事名称	設計NO	図面番号 A / 00
					町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（２期工事）	—	
		発行	作図		図面名称	縮尺	
					表紙・図面リスト	A1: - A3: -	

[illegible]

①
一般
共通
事項

15
①6

中間技術検査
〔1. 7. 2〕
工事写真等

※行う（回数及び時期については監督職員の指示による） ・行わない

下記のを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の撮影は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領」によるものとする
（1）工程写真
工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真（カラー・サービス版）を期間別工事工程報告書に添付するものとする
（2）工事中写真
水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査・確認する事が出来なくなる部分、及びその他監督職員が指示する箇所は、A 4版写真台帳にまとめて完成検査日までに提出するものとする
【提出部数】：1部
（3）完成写真
【撮影箇所】建物外観各方向、主要箇所、主要室内その他監督職員が指示する箇所
【規格・提出部数】※A 4版クリアファイル 部 ・A 4版写真台帳 部

（4）その他の写真
隣接建物等に損傷のおそれがある場合は、施工前・施工後の写真（カラー・キャビネ版）を監督職員の指示により提出するものとする
（5）保管
工事写真のネガ・データは、受注者において工事完成後2年間保管すること

17

完成時の提出図書

※提出を要する 完成図書：2部
竣工図の種類（※全て ・ ）
竣工図の作成方法 CAD（C A Dデータの提出（※要 ・不要））
原図 ・普通紙 ※ 不要
竣工図 二つ折製本（㊟ A1版 1部 ・A2版 部 ㊟ A3版 2部）
竣工図は原則としてCADにて修正を行い、施工図・保全に関する資料が必要なものは監督職員の指示による
なお、1 8 電子納品で対象工事である場合は、加えて電子成果品を 2部提出すること
工事完了時の建物仕様に関する資料（保全マネジメントシステム）
・建物基本情報
・型式台帳
工事完了時の建物使用に関する資料は、監督職員が指定する様式で作成する。

18

電子納品

※電子納品対象工事とする

電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をいう。ここでの電子データとは、「営繕工事電子納品要領（以下、要領という）」に基づいて作成されたものを指す
成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する
また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること

19

施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする

20

設備工事との取合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける

21

撤去部分

コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする

22

適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる
基準風速 V o = 3 4 m / s
地表面粗度区分 ・ I ・ II ㊟ III ・ IV
積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1 4 5 5号 別表（ ）

23

騒音・振動の防止

「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する

24

施工中の安全確保

㊟同一場所で別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第3 0条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する
・労働安全衛生法第1 5条に基づく統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約後直ちに「統括安全衛生責任者選任届出書」（任意様式）を提出すること

25

実施工程表

工事期間は建築設備を含んだ期間とし、工事全体を把握して作成し、監督職員の承諾を受ける

26

工程報告

期間別工事工程報告書を毎月2回1部提出すること

27

保証書

次の工事について保証書を提出すること

工事区分	材 料 名	保証年数	備 考
㊟屋根改修工事	㊟屋根材	— 年	採用メーカーによる
㊟外壁改修工事	㊟下地補修	— 年	採用メーカーによる

②
仮設
工事

1

騒音・粉じん等の対策

〔2. 1. 3〕

2

足場等

〔2. 2. 1〕
〔表2. 2. 1〕

3

既存部分の養生

〔2. 3. 1〕

4

仮設間仕切り

〔2. 3. 2〕

5

監督職員事務所等

〔2. 4. 1〕

6

工事用水

7

工事用電力

8

仮囲い等の安全施設

9

工事現場の表示

10

交通誘導員

11

出入口養生

③
防水
改修
工事

1

降雨等に対する養生方法

〔3. 1. 3〕

2

既存防水の処理

〔3. 2. 3、4、6〕

3

既存下地の処置

〔3. 2. 6〕

7

塗膜防水

〔3. 6. 2、3〕

③
防水
改修
工事

騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート ㊟メッシュシート
防音パネル、 防音シートを取り付ける足場の設置範囲
※ 工事に必要な範囲 ・

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場 ㊟ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
防護シート ㊟ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
内部足場 ・ 設置する（ ※ 脚立、足場板等 ・ ） ㊟ 設置しない
材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
C種：利用可能なエレベーター（ ）
D種：利用可能な階段（ ）

養生方法等
㊟ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による ・
㊟ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等 ・
・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等（取外し再取付を行う）
保管場所 ※ 構内既存施設内 ・
・ 固定された家具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※ 行う（図示） ・
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 ・
仮設間仕切りの種別と材質等
・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示
A、B種の仕上げ材
※ せっこうボード（GB-R 厚さ9.5mm） ・ 合板（普通合板 厚さ9mm）
A、B種の片面への塗装等 ※ 行わない ・ 行う
A種のグラスウールの充填
※行う（J I S A 6 3 0 1グラスウール吸音材3 2 K厚5 0mm）
・ 行わない

仮設扉の種別 ※木製（合板張り程度） ・

※ 設ける m2程度 ・ 設けない
現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による

構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ㊟ 利用できない

構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ㊟ 利用できない
入居者の騒音対策のため、間電柱より引いた仮設分電盤を設置するなど、発電機の使用は控える
尚、アスベスト除去に使用する発電機は除外

別紙設計図による

現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する
※工事名等の表示板（900mm×600mm） ・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm）

※配置する ・ 配置しない
※大型車両進入時（ ）人／日 ・ 常時配置（ ）人／日
㊟（仮設材・（足場等）搬入・搬出及び設置・撤去時・アスベスト含有塗材除去）作業期間
※入札説明書による
※行う（ベニア等） ・ 行わない

※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。
・

既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲 ※ 図示 ・ ）
・ 行わない
既存防水層の撤去 ・ 行う（範囲 ※ 図示 ・ ）
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X）
・ 行わない

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 ・
POS工法及びPOS1工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)①～③による ・
設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
防水層の種類
※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する ・

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考
			種類	使用量		
・ P O X	※ X－1 ・ X－2		※2成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ふっ素樹脂系	※製造所の指定による	・	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
㊟ L 4 X	・ X－1 ※ X－2	窓上等底窓等面台	・アクリルシリコン樹脂系	※製造所の指定による	・	脱気装置 ・ 設ける ㊟設けない
・ P 1 Y	※ Y－2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない

⑧

シーリング

〔3. 7. 2、3、
～ 3. 7. 7〕

9

とい

〔3. 8. 2、3〕

10

アルミニウム製笠木

〔3. 9. 2、3〕

・ P 2 Y	※ Y－2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない				
・ 高強度ウレタン塗膜防水密着工法	屋根防水	・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による	・ 有り	保護層 ・ 設ける ・ 設けない					
X－1（絶縁工法）の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ X－1（絶縁工法）の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ 個 Y－1、Y－2の工程数及び各工程の使用量 ※ 改修標準仕様書表3.6.2による ・主材料の製造所の仕様 ・										
シーリング改修工法の種類 ㊟ シーリング充填工法 ㊟ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による										
施工箇所			シーリング材の種類（記号）							
外部建具廻り			MS-2							
屋根水切と壁取り合い			MS-2							
打継部分			PU-2							
シーリング材表面に仕上塗材、塗装等 ※行う ・ 行わない シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)～(2)による ・ 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験										
といの材質 ・ 配管用銅管 ㊟ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン ルーフドレン										
種別			施工箇所							
・ ろく屋根用（ ・ 縦型 ・ 横型）										
・ バルコニー用										
・ バルコニー中継用										
ルーフドレンの材質： ※ 本体等の鋳鉄品の種類は、JIS G 5501（ねずみ鋳鉄品）によるFC150又はFC200とし、張掛け幅は100mm以上とする。 とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※ 改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示 銅管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書表3.8.4による ・ たてとい受金物の取付け ※ 図示 ・										
種類 ・ オープン形式（ ・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形 ） ・ 板材折曲げ形（ ・ オープン形式 ・ シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（ ※ 2.0mm ・ mm） 表面処理 種別（ ）種 色合等 ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 既存笠木等の撤去 ・ 行う（範囲 ※ 図示 ・ ） ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法										

						作成		承認				工事名称	設計NO	図面番号
						発行		作図				町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（2期工事）	—	A / 02
												図面名称	縮尺 A1：－ A3：－	
												建築改修工事特記仕様書（2）		

4-1

外壁改修工事（共通事項）

1

ポリマーセメントモルタル
[4.2.2]

（品質・性能）

項目		品質・性能	
だれ	下がり量（mm）	5以内	
	表面の状態	ひび割れの発生が無いこと。	
曲げ強さ（N/mm2）		6.0以上	
圧縮強さ（N/mm2）		20.0以上	
接着強さ（N/mm2）	標準条件	1.0以上	
	特殊条件	湿潤時	0.8以上
		低湿時	0.5以上
透水性	表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。		
その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。		

（品質・性能）

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）（%）	引張接着性（材齢28日）（N/mm2）	曲げ性能（材齢28日）（N/mm2）	吸水性（72時間）（%）	耐久性（劣化曲げ強さ）（N/mm2）
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数 0.35～0.55
粘調係数 0.50～1.00
改修標準仕様書表4.2.2による

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能）

項目	品質・性能	項目	品質・性能
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下
単位容積質量	1.80kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上
接着強さ	標準時0.60N/mm2以上		
	温冷繰返し後0.40N/mm2以上		

（試験方法）
（1）試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
（2）保水率の試験方法
JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、（1）で調製した試料を平滑に詰込む。
その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率＝50／平均値×100（注） 50：リング型わくの内径 mm
（3）単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。
（4）接着強さ（標準時）の試験方法
イ）適用タイルが「モザイクタイル」の場合
（試験体の作製）JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N＝300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。（全てが0.6N/mm2以上を確保していること）
また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断
ロ）適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合
（試験体の作製）JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N＝300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

2

ポリマーセメントスラリー
[4.2.2]

3

吸水調整材
[4.2.2]

4

既調合モルタル
[4.2.2]

4-2

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

1

ひび割れ部改修工法
[4.1.4]
[4.2.2][4.3.5]

2

欠損部改修工法
[4.1.4]
[4.2.2][4.3.7]

4-3

外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）

1

ひび割れ部改修工法
[4.1.4]
[4.2.2]
[4.4.5～7]

2

欠損部改修工法
[4.1.4]
[4.2.2]
[4.4.8、9]

（5）接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法
（試験体の作製）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々（4）接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。
（温冷繰返し試験）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。
試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。
（温冷繰返し後の接着強さ試験方法）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること）

（6）長さ変化率の試験方法
JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。

（7）曲げ強さの試験方法
JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。

3

浮き部改修工法
[4.1.4]
[4.2.2]
[4.4.10～15]

4

外壁複合改修構工法

5

目地改修工法
[4.1.4]
[4.5.16]

6

外壁複合改修構工法

4-5

外壁改修工事（塗仕上げ外壁）

1

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整
[4.6.2]

2

下地調整材
[4.6.3]

3

仕上塗材仕上げ
[4.1.4]
[4.2.2]
[4.6.5]
表4.2.4]

4

マステック塗材塗り
[4.1.5]
[4.7.2]
表4.7.1]

5

外壁用塗膜防水材塗り
[4.1.5]
[4.2.2]
[4.8.2]
表4.2.6]

※ モルタルを撤去しないで改修
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm

・ モルタルを撤去して改修
モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料
・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル
・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する（形状）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示 ・

平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※ 図示 ・

平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

工法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）、
○ 高圧水洗工法 吐出圧力 ・ 30MPa～50MPa ○ 50MPa～100MPa ・ 100MPa以上	※既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）による
・ 塗膜はく離削工法	※既存仕上げ面全体 ・ 図示	
・ 水洗い工法	※既存仕上げ面全体 ・ 図示	
○石綿含有仕上げ塗材の除去は、9章環境配慮改修工事による		

※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外
仕上塗材の種類
○ 薄付け仕上塗材

呼び名	仕上の形状	工法	吸放湿性	防火材料
※ 外装薄塗材E	○砂壁状	○ローラー	・ 適用する	・
・			・ 適用する	・

・ 厚付け仕上塗材

呼び名	仕上の形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料
			・ 適用する	・ 適用する	・
			・ 適用する	・ 適用する	・

○ 複層仕上塗材

呼び名	仕上の形状	工法	上塗り材の種類	耐候性	防火材料
※ 複層塗材E ○ 防水形複層塗材E	○凸凹状	・ 吹付け ○ローラー	溶媒 ※ 水系 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・	※ 耐候形3種 ・	・

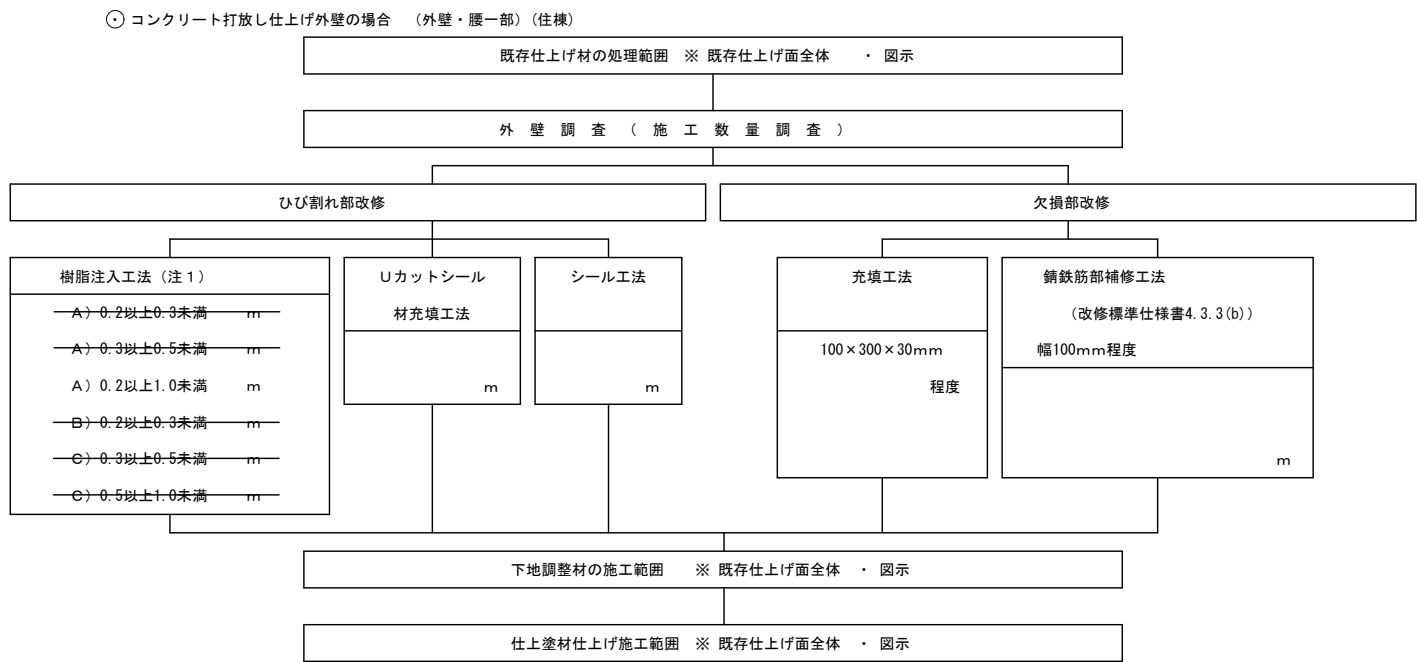
・ 軽量骨材仕上塗料

呼び名	防火材料
	・

種別 ・ A種 ・ B種

仕上の形状 ・
工法 ・
外壁用仕上塗材の耐候性 ※JIS A 6909の耐候形1種の品質基準に適合するもの ・
下地挙動緩衝材 ・ 適用する ・ 適用しない
模様材の種類 ・ （所要量 ※ 改修標準仕様書表4.2.6iによる ・ kg/m2）
外壁用仕上塗料の種類 ・ （所要量 ※ 改修標準仕様書表4.2.6iによる ・ kg/m2）

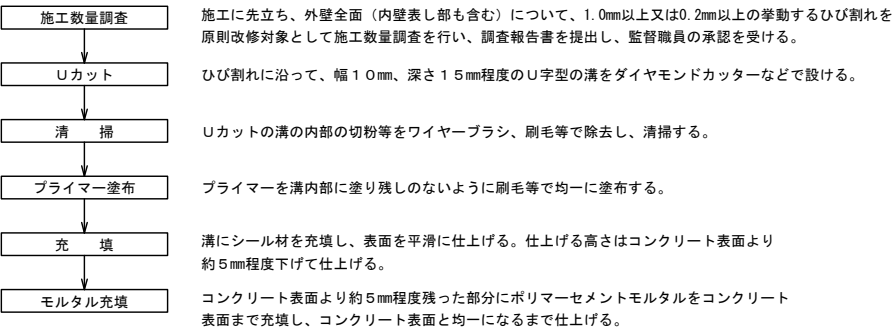
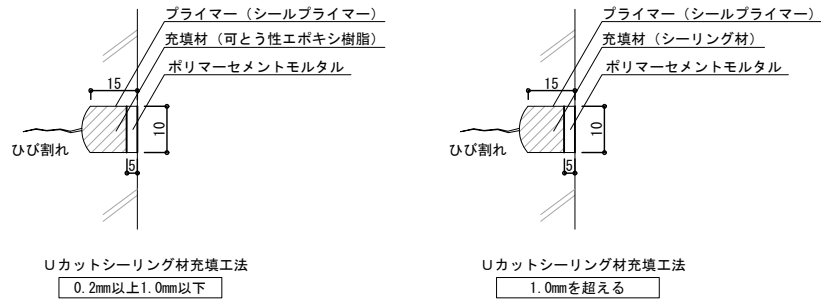
	作成	承認				工事名称 町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（2期工事）	設計NO —	図面番号 A / 03
	発行	作図				図面名称 建築改修工事特記仕様書（3）	縮尺 A1：－ A3：－	



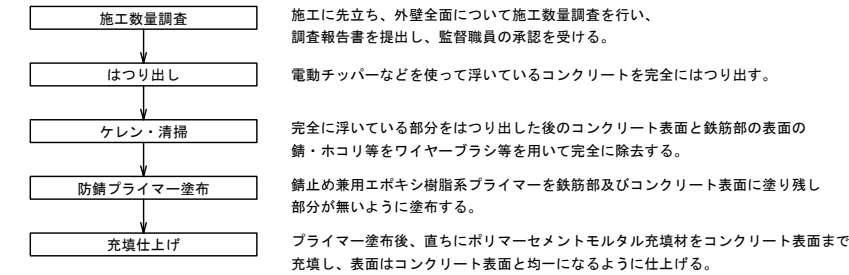
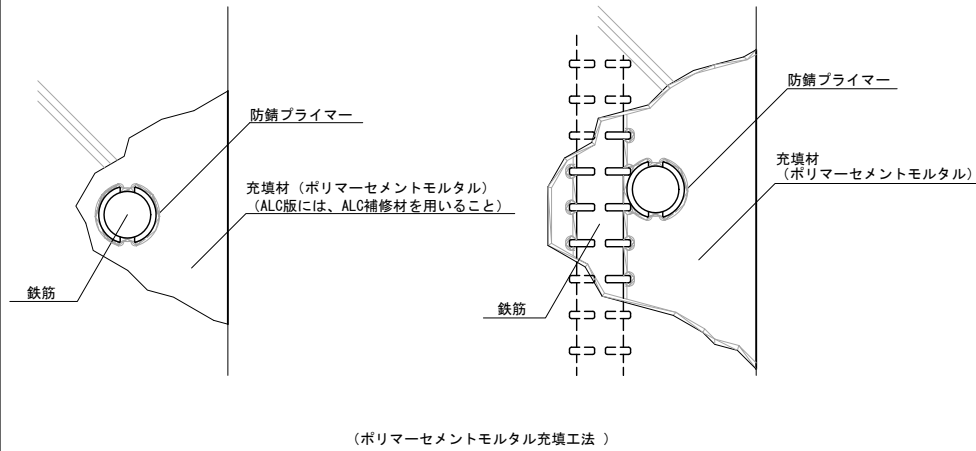
（注 1） A：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
B：手動式低圧エポキシ樹脂注入工法
C：機械式低圧エポキシ樹脂注入工法

（注 2） 下地調整材の塗布量・回数はアスベスト含有下地調整材除去後の状態による。監督職員と協議の上、決定すること。なお、躯体の構造クラック以外については原則、GM-2(1回)、C-2(1回)を左官工により塗付すること。

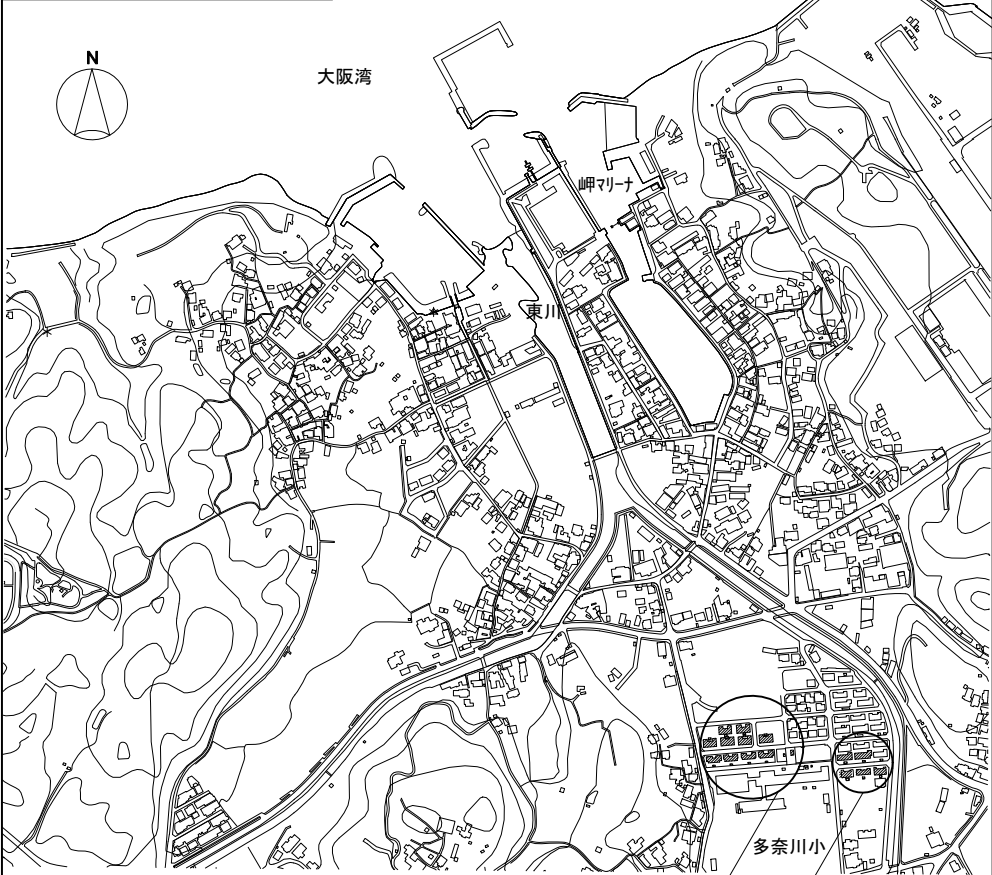
1 ひび割れ補修（住棟）



2 鉄筋露出部・欠損補修（住棟・物置）
（コンクリート浮き部分補修）

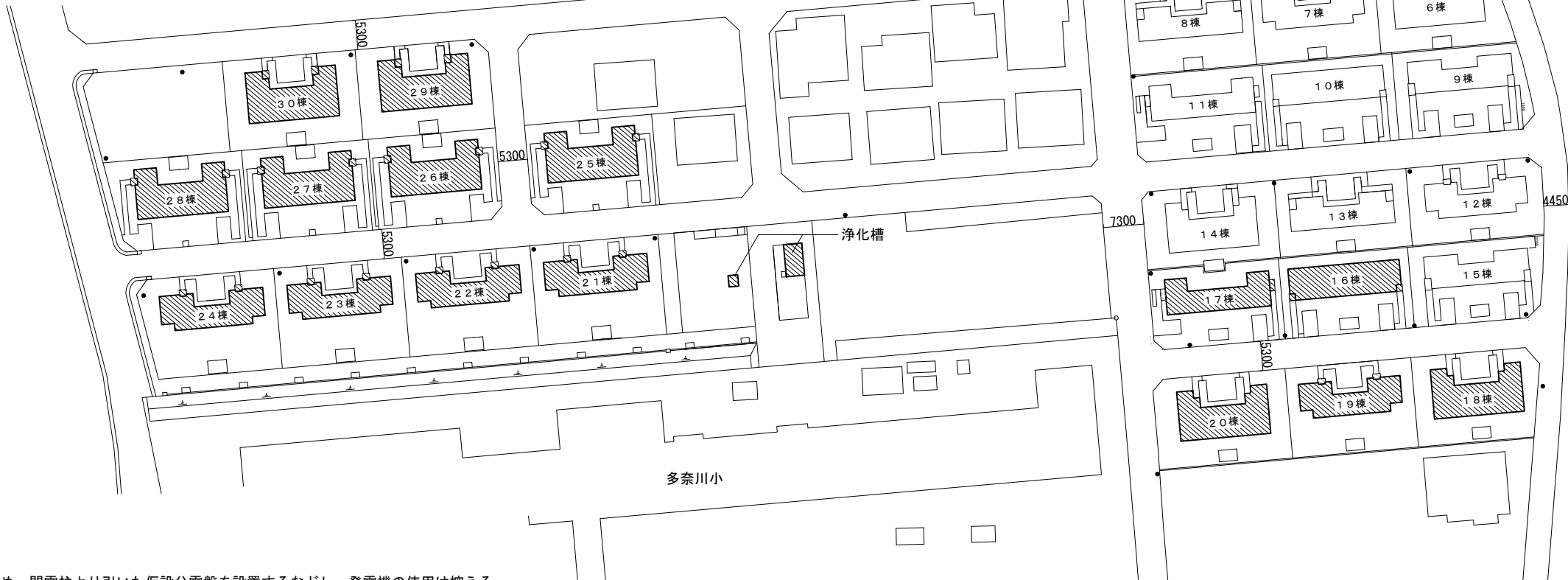


附近見取図 1 : 5000



大阪府泉南郡岬町多奈川谷川1634番地の29外

今回工事範囲 16～30棟 物置 浄化槽施設



※工事用電力は入居者の騒音対策のため、関電柱より引いた仮設分電盤を設置するなどし、発電機の使用は控える。
 但しアスベスト除去に使用する発電機は除外。

全体配置図 1 : 500

●・・・ 関電柱位置を示す



・・・・ 今回工事建物（住棟）を示す（16～30棟）。工事建物（物置等）は棟別配置図参照のこと

		作成	承認	工事名称 町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（2期工事）	設計NO	図面番号 A / 06
		発行	作図		縮尺	
					A1: 1/500 A3: 1/1000	

図面名称
 附近見取図・全体配置図

外部仕上表【共通】							
場 所	改修記号	部 位	下 地	既 設	下地処理等	改 修	備 考
屋 根	Ⓐ		コンクリートスラブ	均しモルタルt20の上、アスファルトシングル葺（★） 壁取り合い水切りのみ<撤去>		既設仕上材の上、カラーガルバリウム鋼板 t 0.4かん合式瓦葺葺 ポリエチレンフォーム t 4裏打・ルーフィング 断熱 t 25<カバー工法>	
外 壁	Ⓑ	各 面	コンクリート	アクリルリシン吹付+下地調整材（★）<撤去>	1. サンダーケレン及び超高压水洗浄(アスベスト含有、下地調整材除去) 2. ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修 3. 全面下地調整剤コテ塗り (CM2+C2)	防水形複層塗材 E ローラー塗	
軒	Ⓒ	軒裏	コンクリート	-1：アクリルリシン吹付+下地調整材（★）<撤去> -2：一部コンクリート打放し(16棟・17棟のみ)	1. 超高压水洗浄(アスベスト含有、下地調整材除去) 2. ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修 3. 全面下地調整剤コテ塗り (CM2+C2)	軒先：外装薄塗材 E ローラー塗 軒裏：外装薄塗材 E ローラー塗	空調室外機取付用金具 全て撤去 1902号室（1ヶ所）のみ利用中の為、既存のまま
軒（玄関）	Ⓓ	軒裏（玄関）	野縁：木40×40@455	一部軒天 フレキシブル板（★） t 4.0の上、 アクリルリシン吹付+下地調整材（★） <下地を除き全て撤去>		既存木下地、ケイカル板 t 6.0(廻り縁共)新設の上、外装薄塗材 E	
庇・面台	Ⓔ	庇天端・鼻先・面台	コンクリート	防水モルタル金ゴテ押え	1. 水洗い 2. ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修 3. 全面下地調整剤コテ塗り	塗膜防水（鼻先・面台共）	
	Ⓕ	庇裏	コンクリート	コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付（★）	1. 超高压水洗浄(アスベスト含有、下地調整材除去) 2. ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修 3. 全面下地調整剤コテ塗り	外装薄塗材 E ローラー塗	
巾木	Ⓖ	－	コンクリート	コンクリート打放し H300	1. 水洗い 2. ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修 3. 全面下地調整剤コテ塗り (CM2+C2)	－	
建具	Ⓗ	アルミサッシ	－		1. 清掃 2. 建具周囲シーリング<撤去>	サッシ：既存のまま。ただし、建具調整を行うこと。 網戸：一部コマのみ取替え(※1)	面格子のついている窓については取り外し後、再取付とする ※1 2201号室のみ
	Ⓘ	玄関扉	鋼製	扉：シート張り又は化粧鋼板 三方枠：亜鉛メッキの上、SOP塗	扉・三方枠：シート張り又は錆び除去の上、下地調整（内外共） 建具周囲シーリング<撤去> ドアチェック<撤去>	扉・三方枠：DP塗 1級 ドアチェック:<新設> シーリング打ち替え MS-2	17棟はシーリング打ち替えのみ
窓手摺	Ⓙ	－	－	亜鉛めっきの上、SOP塗	1. 錆び除去の上、下地調整	DP塗 1級	
軒樋・竖樋	Ⓚ	－	－	軒樋：VP100φ（半丸）<取付金物共 撤去> 竖樋：VP75φ<取付金物共 撤去>	1. 撤去	軒樋：塩ビ製 φ130WIDE 竖樋：カラーVP75φ、掴み金物：亜鉛メッキ品	
玄関灯	Ⓛ	玄関灯	－	本体：TM材 セード・カバー・バッキン：木製又は鋼板・アクリル・EPTスポンジゴム 付属ランプ：13型ツイン1蛍光灯	1. 撤去	本体：同サイズ程度のもの 付属ランプ：LED	1701号室のみ別形状
床下換気口	Ⓜ	－	－	塩ビ製 既製品 丸型又は角型	1. 清掃	既存のまま	
天井換気口	Ⓝ	－	－	塩ビ製 VP50φ	1. 清掃	既存のまま	
物置	ⓐ	－	PC造 既製品	天端・軒先：アクリルリシン吹付+下地調整材（★）<既設のまま存置> 外壁・軒裏：アクリルリシン吹付+下地調整材（★）<既設のまま存置>	1. ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修	外壁・天端・軒先：防水形複層塗材E ローラー塗（柄なし） 軒裏：外装薄塗材 E ローラー塗	鋼製扉：錆び除去の上、下地調整、DP塗 1級
（台所）換気扇フード	ⓑ	－	－	樹脂製換気扇フード	－	400角深型SUSフードに取替え(※2)	※2 1602号室：交換済
設備盤 A	㍑	－	鋼製 既製品	焼付塗装	1. 錆び除去の上、下地調整	DP塗 1級	設備盤 Aサイズ：W300×H800×D200 ※鉄板が薄くなっているものや穴が空いているものについては 金属パテ等で補修すること
設備盤 B	㍑	－	鋼製 既製品	焼付塗装	1. 錆び除去の上、下地調整	DP塗 1級	設備盤 Bサイズ：W300×H300×D140 (21～30棟：W400×H500×D140) ※鉄板が薄くなっているものや穴が空いているものについては 金属パテ等で補修すること
設備盤 C	㍑	－	鋼製 既製品	焼付塗装	1. 錆び除去の上、下地調整	DP塗 1級	設備盤 Cサイズ：W500×H600×D140 ※鉄板が薄くなっているものや穴が空いているものについては 金属パテ等で補修すること

■改修工事内容							
A. 住棟				3 浄化槽②改修			
1 屋根改修				- 1 蓋			
①既設シングル葺きを金属屋根かん合式瓦葺葺き<カバー工法>にやり替え				- 2 受枠			
①既設軒樋・竖樋（取付金物共）のやり替え				- 3 基礎コンクリート			
2 外壁改修				4 敷地出入口フェンス・扉改修			
①外壁：既設アクリルリシン吹付+下地調整材（★）を全面除去の上、				①PCネットフェンス・扉取付			
全面下地処理等（※1）を行い、防水形複層塗材Eローラー塗にやり替え				5 敷地内整地等改修			
②巾木：既設コンクリート打放面の上、全面下地処理等（※1）を行う				①土すきとり、整地の上、防草シート+砂利敷き			
③軒裏：既設アクリルリシン吹付+下地調整材（★）を全面除去の上、							
上、全面下地処理等（※1）を行い、外装薄塗材Eローラー塗にやり替え							
④玄関軒裏：（木下地を除く）既設フレキシブルボード（★）+アクリルリシン							
+下地調整材（★）撤去の上、（既存木下地）+ケイカル板							
+外装薄塗材Eローラー塗にやり替え							
⑤庇・面台：庇裏：アクリルリシン吹付+下地調整材（★）							
全面除去（天端・鼻先・面台水洗い）の上、全面下地処理等（※1）を行い、							
天端・鼻先・面台：塗膜防水、裏：外装薄塗材Eローラー塗にやり替え							
3 外部建具改修							
①アルミサッシ部							
- 1 一部、網戸のコマ取替え							
- 2 サッシ廻りシーリングのやり替え							
- 3 建具調整							
②玄関戸部							
- 1 玄関戸・枠の塗替え							
- 2 ドアチェック取替え							
- 3 建具調整							
4 外部金物等の塗替改修							
- 1 窓手摺							
- 2 設備盤 A・B・C							
5 各種改修							
- 1 （台所）換気扇フード取替え							
- 2 玄関灯取替え							
6 各種清掃							
- 1 外部アルミサッシ・ガラス							
- 2 玄関扉ガラス							
- 3 床下・天井換気口							
B. 物置							
1 屋根・外壁・軒裏吹付							
①既設仕上面の上、屋根・外壁は防水形複層塗材E、軒裏は外装薄塗材ローラー塗							
※既設アクリルリシン（★）は既存のまま残置とし、下地調整不要							
2 鋼製戸塗替え							
C. 浄化槽施設（現状復旧工事）							
1 屋根・外壁・軒裏吹付							
①既設仕上面の上、屋根・外壁は防水形複層塗材E、軒裏は外装薄塗材ローラー塗							
※既設アクリルリシン（★）は既存のまま残置とし、下地調整不要							
2 浄化槽①上屋鋼製戸取替え、浄化槽②上屋鋼製戸塗替え							

注）※1：全面下地処理等の内容は、上記、外部仕上表【共通】下地処理等欄内を参照。

注）■アスベスト含有材料（★）

- ・屋根材：シングル葺き
- ・吹付材：アクリルリシン吹付+下地調整材
- ・天井材：フレキシブル板

凡 例	
記 号	名 称
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗 （1級）

共通事項

① 施工に先立ち、外壁全面について施工数量調査を行い、調査報告書を提出し、監督職員の承認を受ける。

② 塗料等の選定の際には、現物見本を製作し、監督員に提出する事。

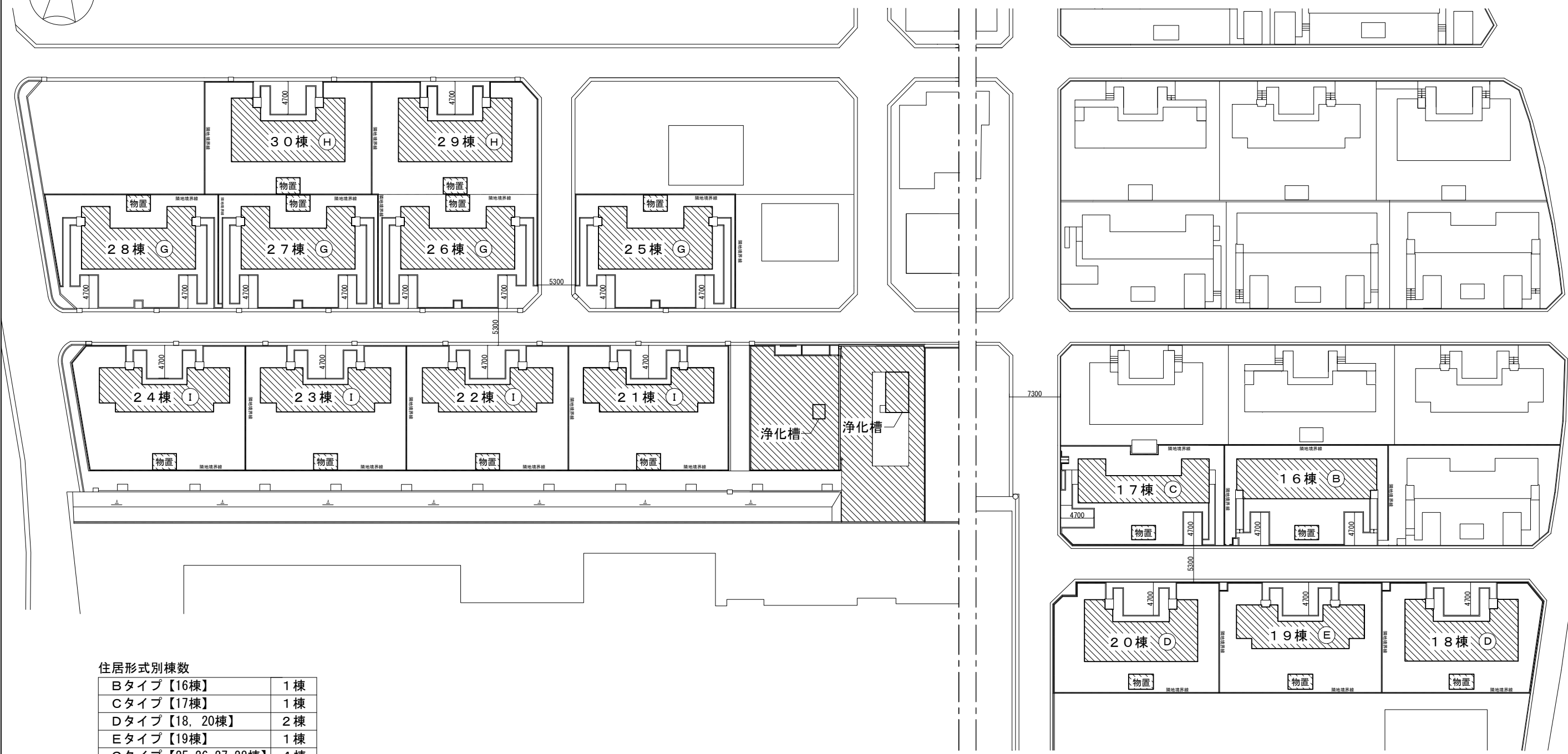
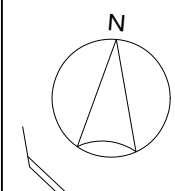
③ 改修しない部材に関しては、清掃を行い、改修部との調和をはかる事。

④ 居住者の方に迷惑が掛からないよう、室内に通じる部分は全て養生を行い、臭気や粉塵が室内に入らないように配慮する事。

⑤ 特記なき下地調整材は1回塗りとする。

		作成	承認		工事名称	設計NO	図面番号
					町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（2期工事）	—	
		発行	作図		図面名称	縮尺	
					【共通】外部仕上表	A1：－ A3：－	

A / 07



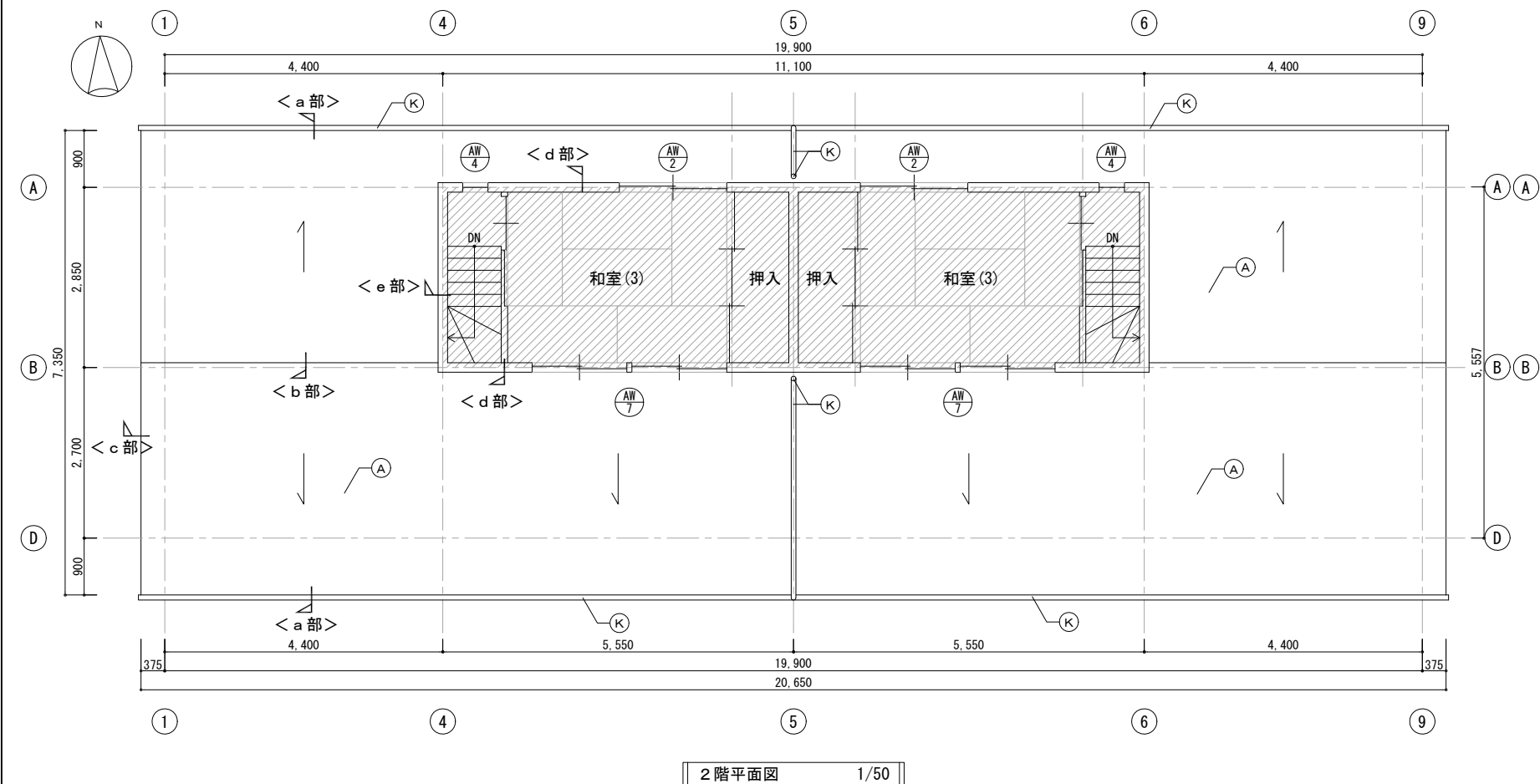
住居形式別棟数	
Bタイプ【16棟】	1棟
Cタイプ【17棟】	1棟
Dタイプ【18, 20棟】	2棟
Eタイプ【19棟】	1棟
Gタイプ【25, 26, 27, 28棟】	4棟
Hタイプ【29, 30棟】	2棟
Iタイプ【21, 22, 23, 24棟】	4棟

全体配置図 1/300

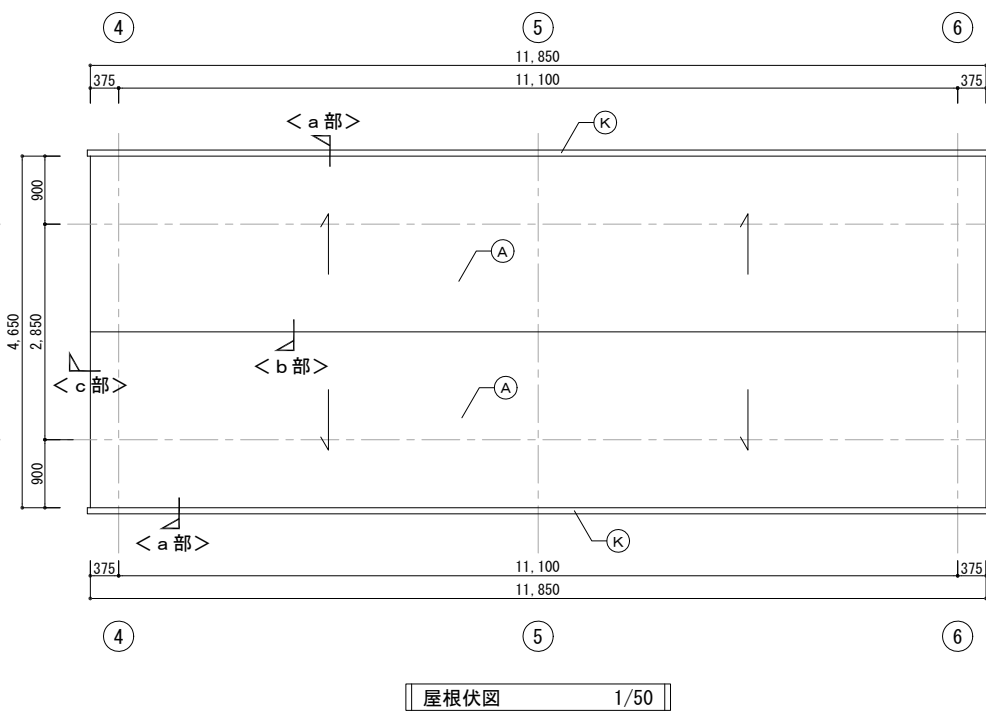
凡例

ⓑ：住居型式

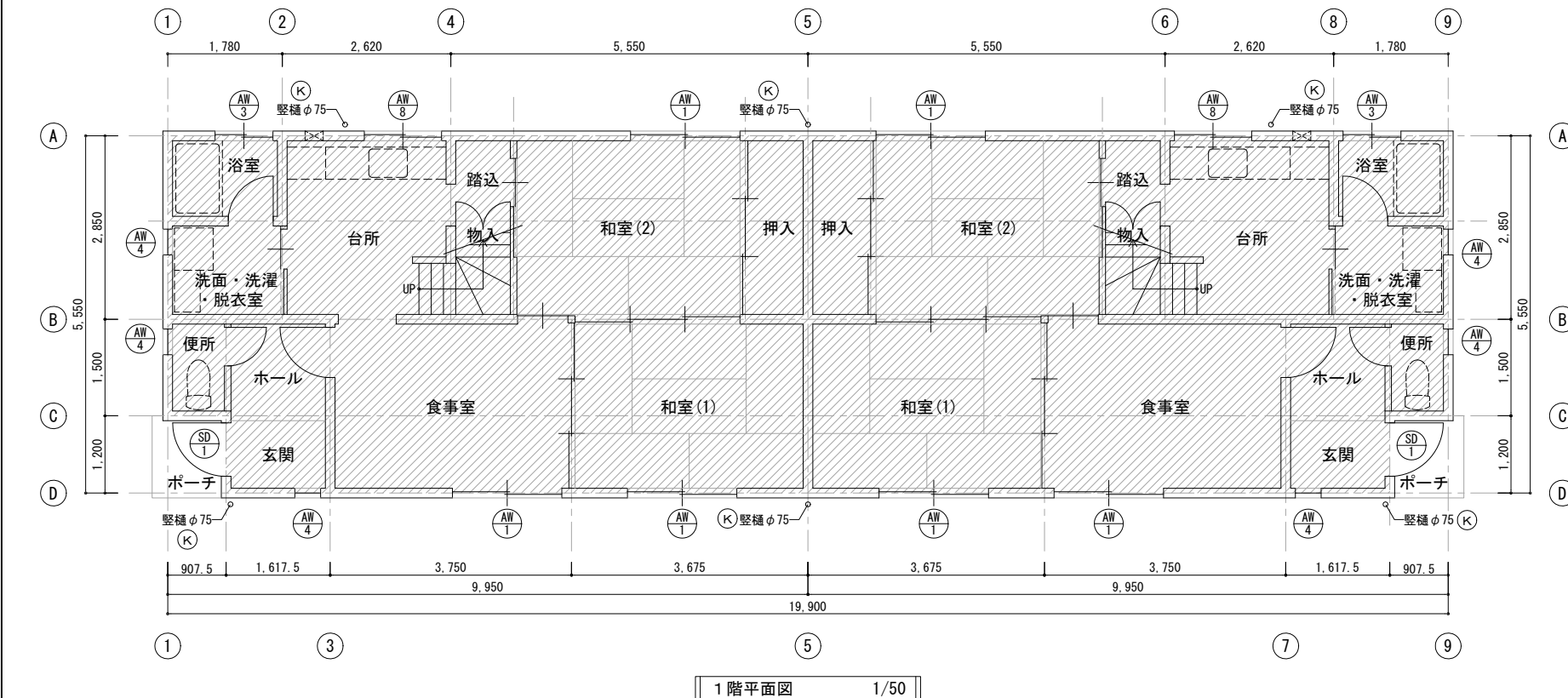
▨：今回工事範囲を表す



2階平面図 1/50

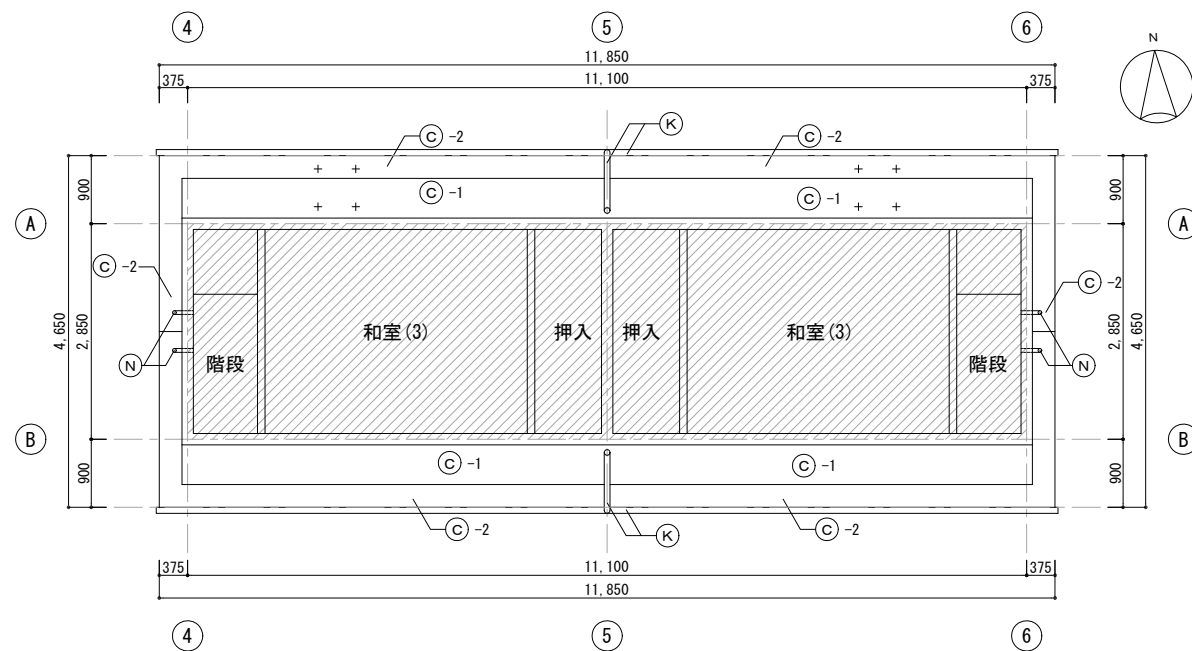


屋根伏図 1/50

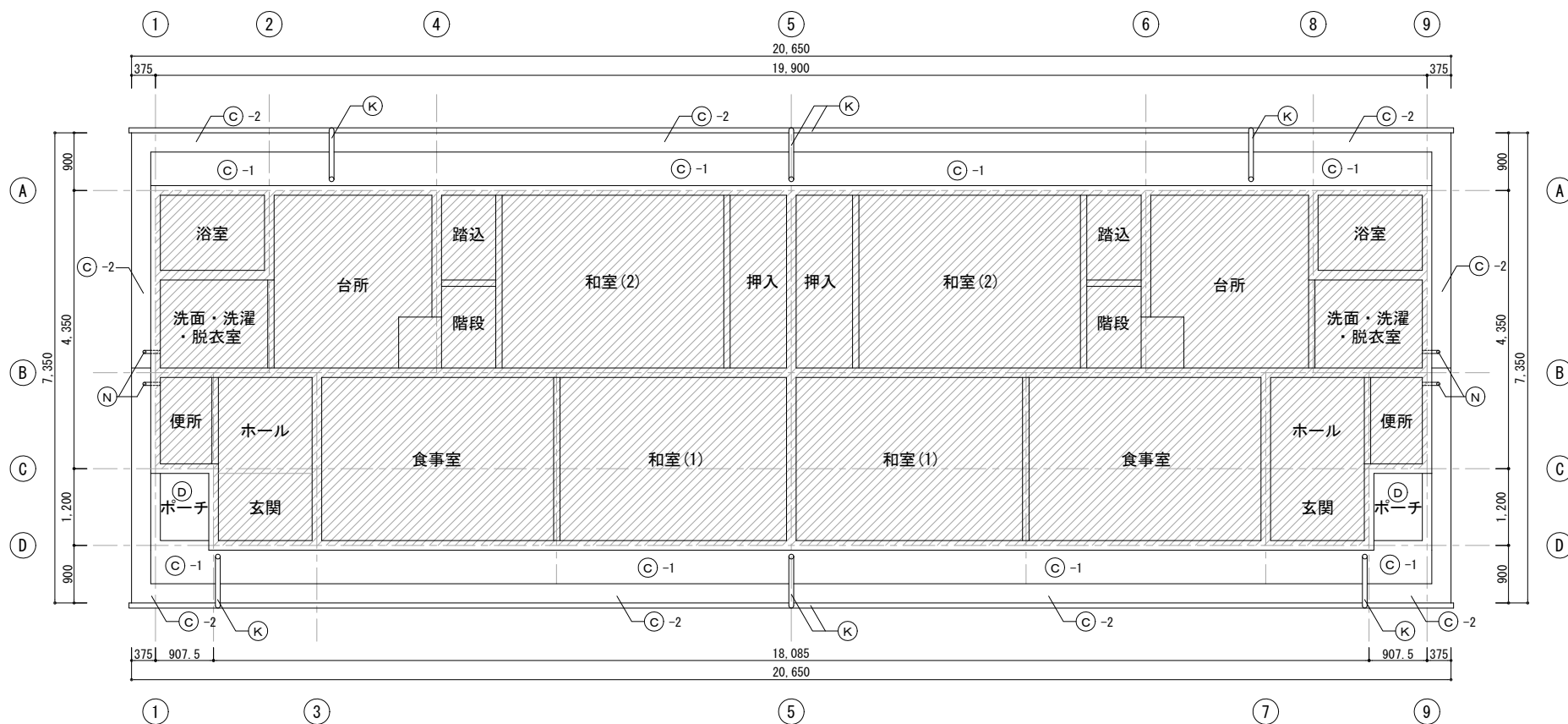


1階平面図 1/50

凡 例	
記 号	内 容
	改修内容 ※記号は仕上表に順ずる
	建具記号を示す (AW: (H) SD: (I) (O))
	屋根部分詳細図断面位置を示す
	工事対象外の範囲を示す



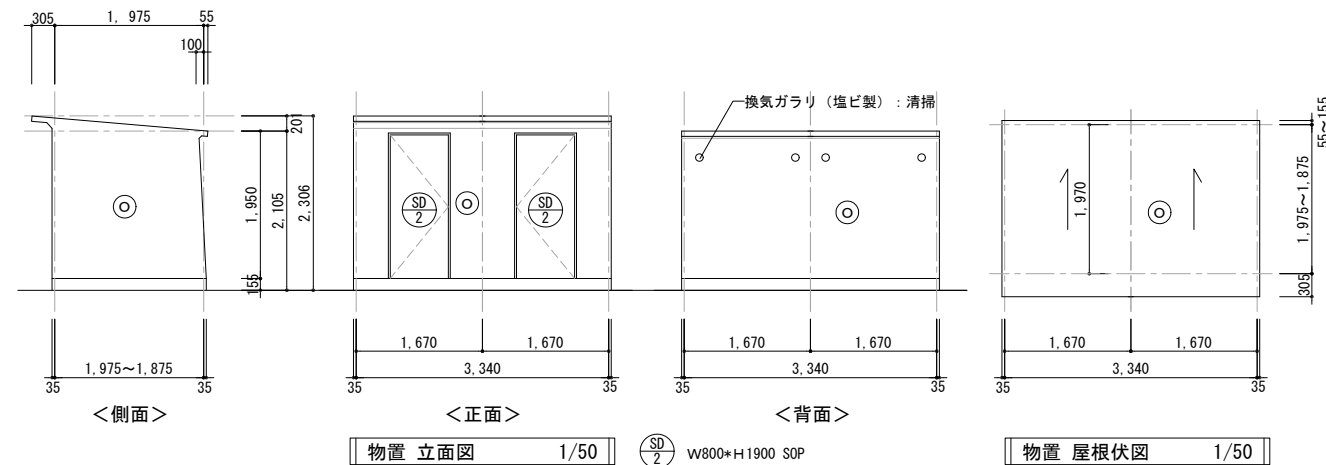
2階天井伏図 1/50



1階天井伏図 1/50

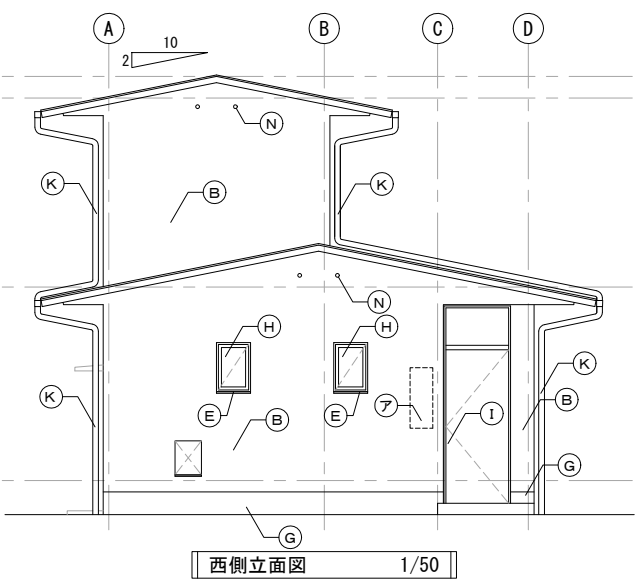
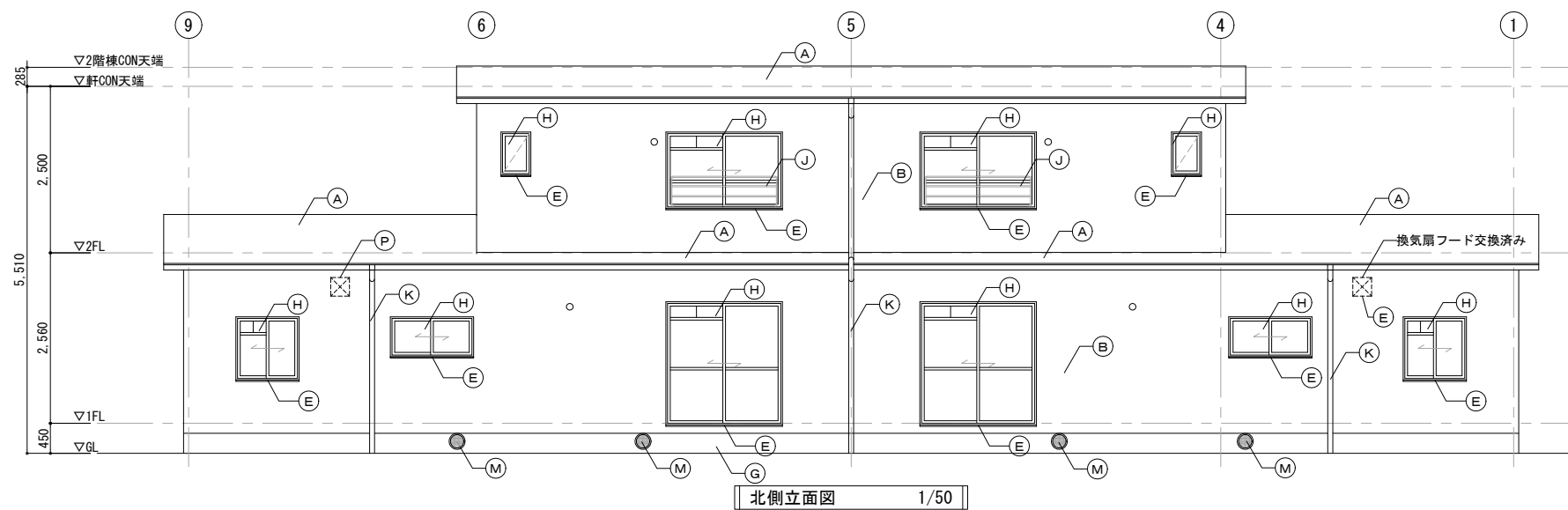
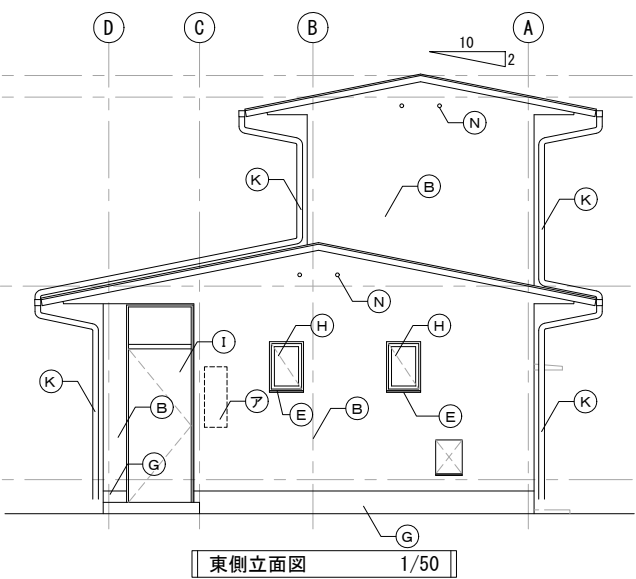
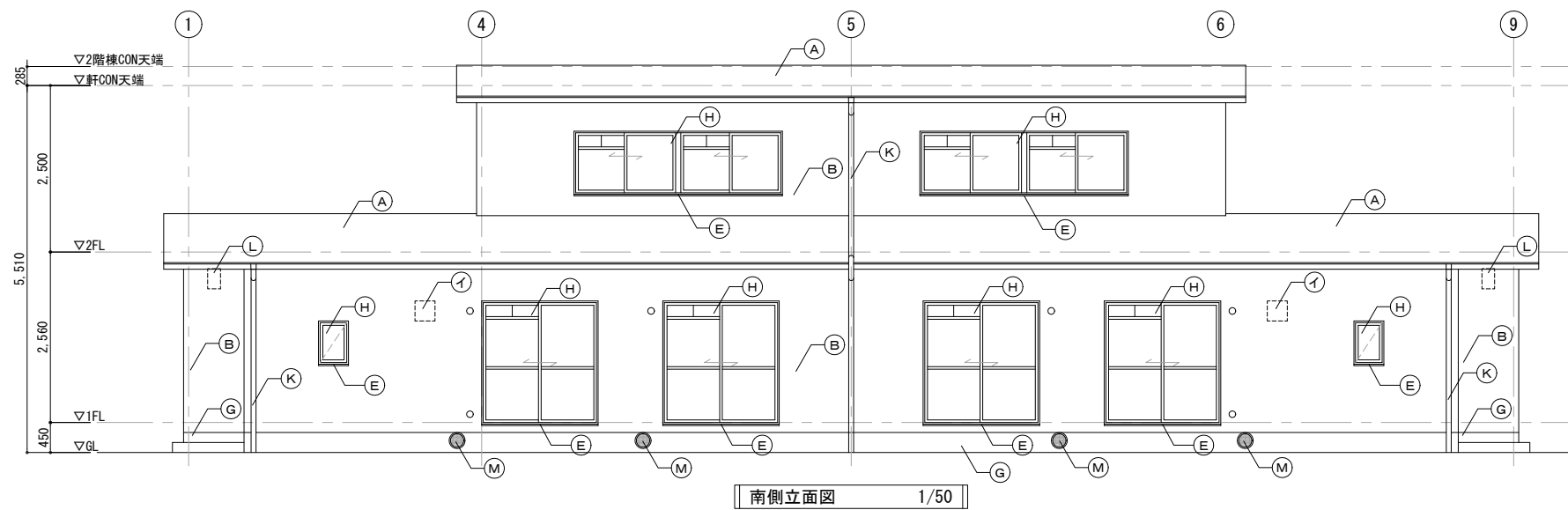
凡 例	
記 号	内 容
	改修内容 ※記号は仕上表に順ずる
	空調室外機取付用金具〈撤去〉
	工事対象外の範囲を示す

	作成	承認	工事名称	設計NO	図面番号 A / 10
	発行	作図	町営多奈川平野北住宅長寿化改修工事（2期工事）	縮尺	
			【16棟】 Bタイプ 天井伏図	A1: 1/50 A3: 1/100	

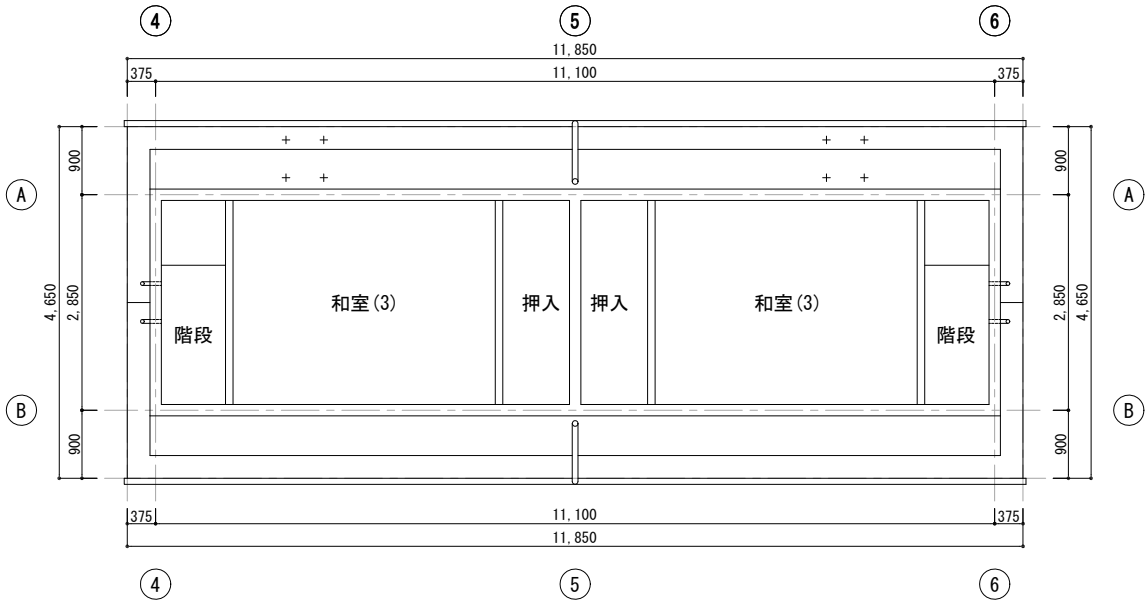


凡 例	
記 号	内 容
	改修内容 ※記号は仕上表に順ずる
	建具記号を示す (AW : (H) SD : (I) (O))
	工事対象外の範囲を示す

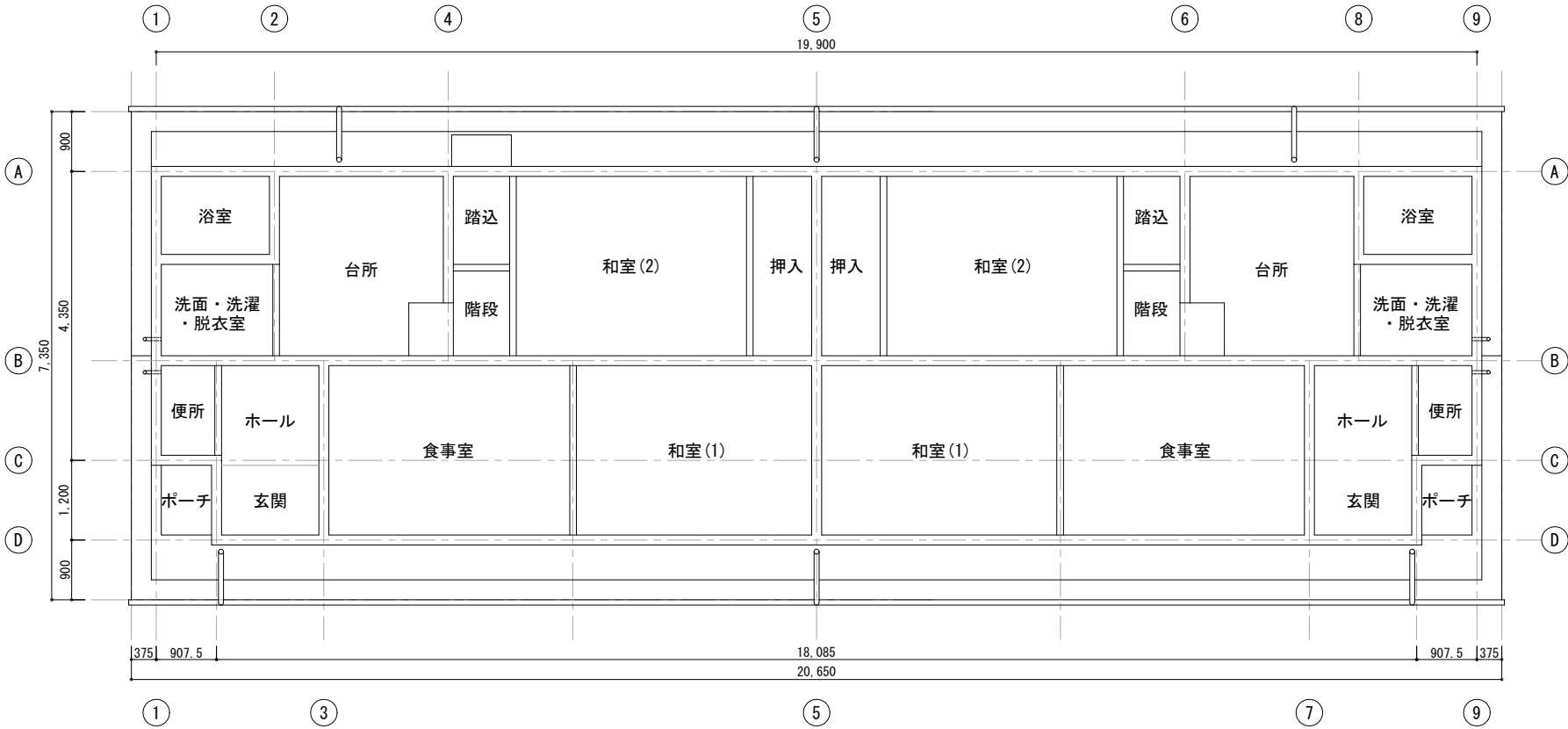
＜ 注 記 ＞
設備盤は錆び除去の上、鉄板が薄くなっているものや穴が空いているものについては金属パテ等で補修すること



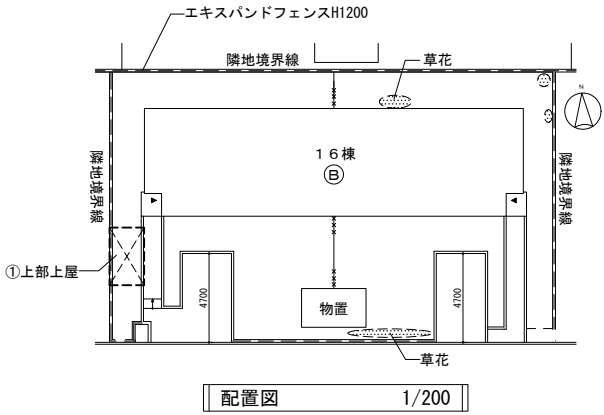
※軒裏劣化なし



2階天井伏図 1/50



1階天井伏図 1/50



＜ 仮撤去・復旧項目 ＞

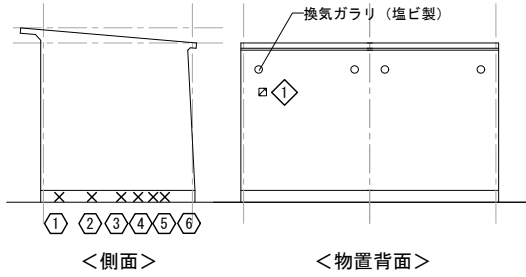
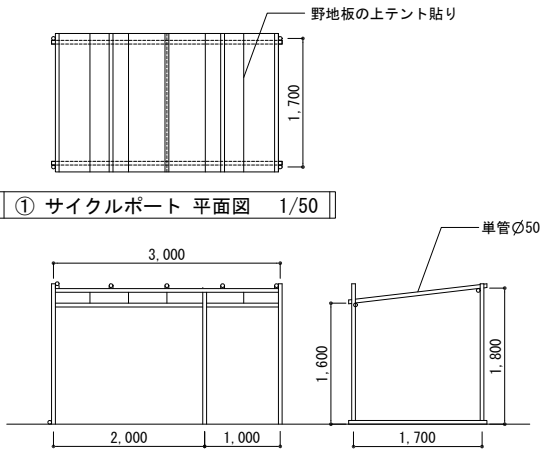
番 号	内 容
1	上屋：野地板の上テント張り：仮撤去 復旧

＜ 凡 例 ＞

- *** フェンス仮撤去・復旧
- 植栽・植木鉢

＜ 注 記 ＞

- 物置は外壁、屋根についてトップコートのみ塗装改修する
- 物置・外壁周囲の樹木、草は1m程度の範囲で枝うち及び除草を行うこと
- 物置・外壁に接するエキスパンドフェンス及びそれに類するものは1m程度の範囲についてフェンスのみ取り外し・再取付とする
- いずれも施工前に現調調査を実施し監督職員と協議の上必要な対策を行うこと



＜ 物置露筋 ＞

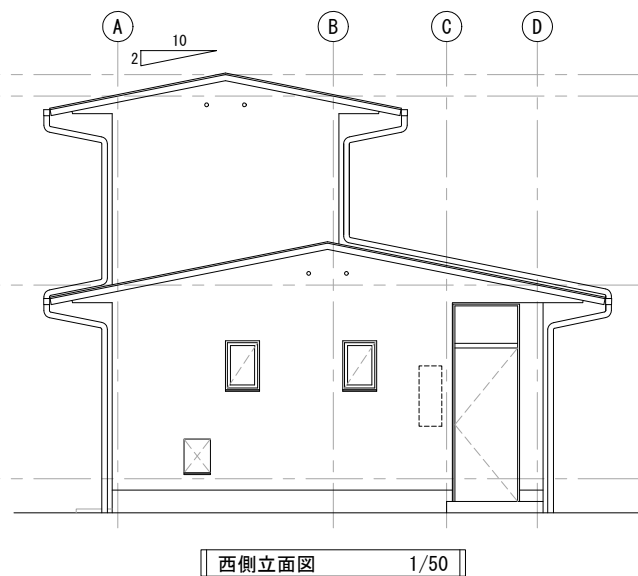
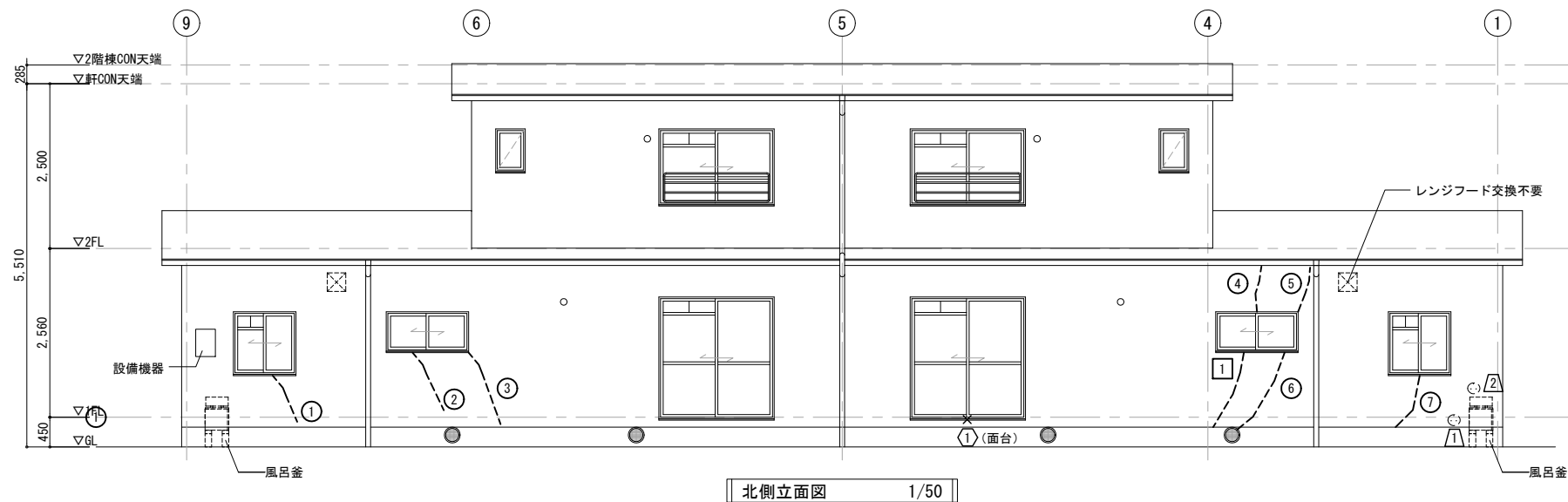
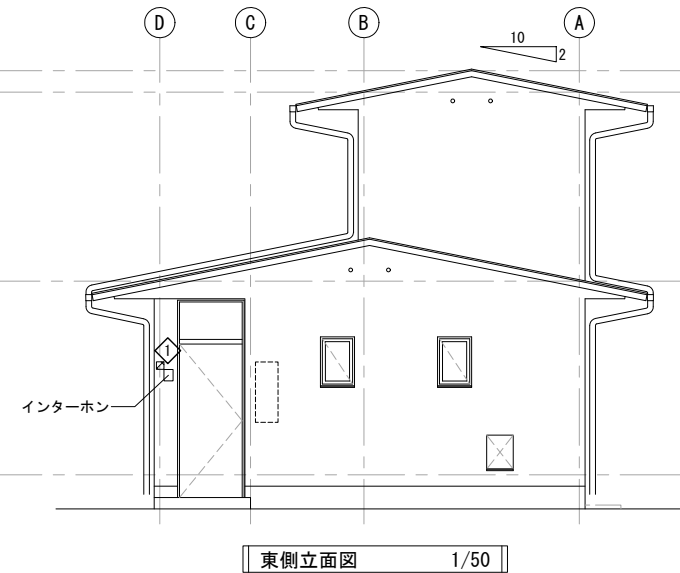
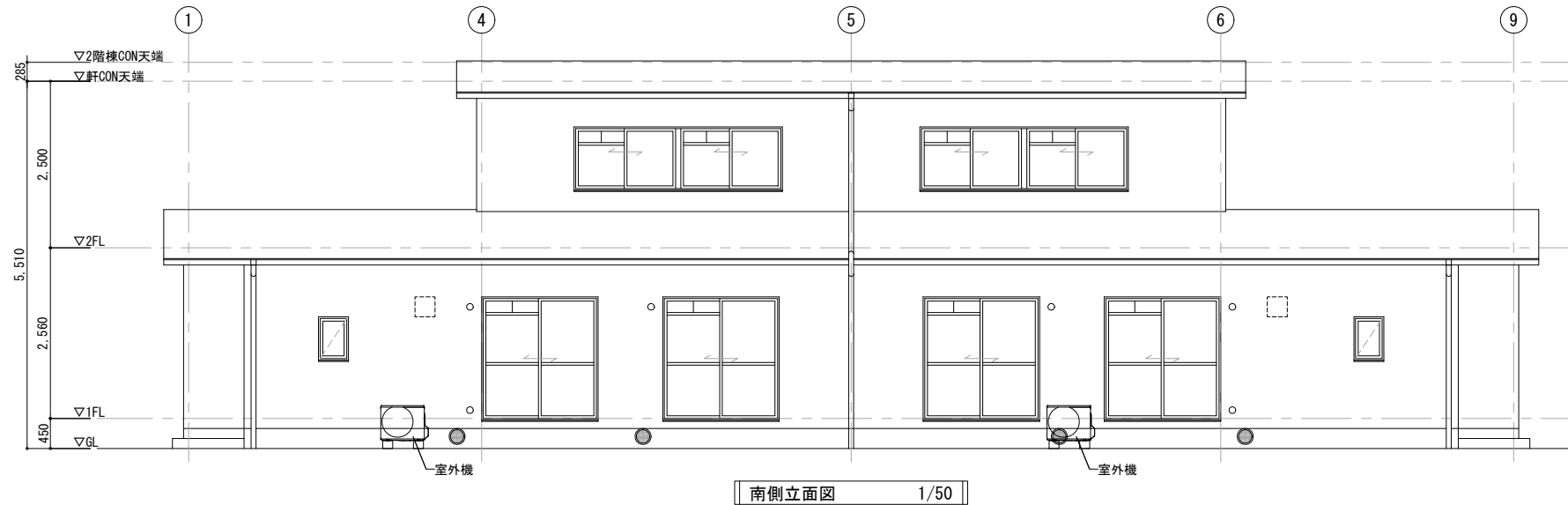
番 号	長さ (m)
①	0.08
②	0.08
③	0.08
④	0.08
⑤	0.08
⑥	0.80

＜ 物置爆裂 ＞

番 号	W x H x D (m)
①	0.10 x 0.10 x 0.01

凡 例

---	+	クラック (巾0.5mm以上巾1.0mm未満)
---	+	クラック (巾1.0mm以上)
×	①	露筋
⊗	①	爆裂
⊗	△	欠損
⊗	①	その他



< クラック (巾0.5mm以上1.0mm未満) >

番 号	長さ (m)
①	0.80
②	1.00
③	1.20
④	0.70
⑤	0.70
⑥	1.40
⑦	0.90

< クラック (巾1.0mm以上) >

番 号	長さ (m)
①	1.30

< 露筋 > (面台)

番 号	長さ (m)
①	0.10

< 爆裂 >

番 号	W x H x D (m)
①	0.07 x 0.07 x 0.01

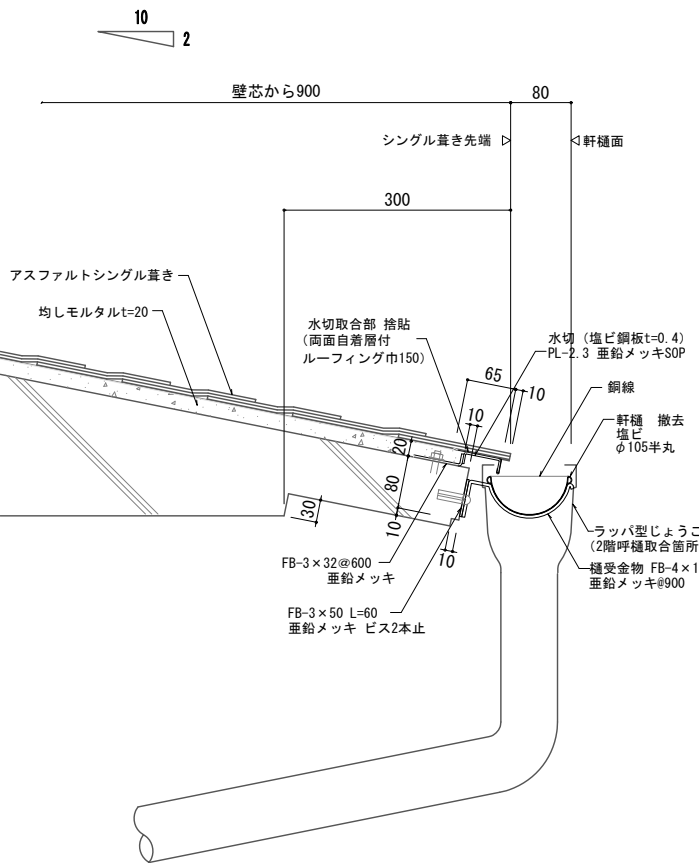
< その他 >

番 号		W x H x D (m)
①	穴	0.01 x 0.01 x 0.01
②	穴	0.01 x 0.01 x 0.01

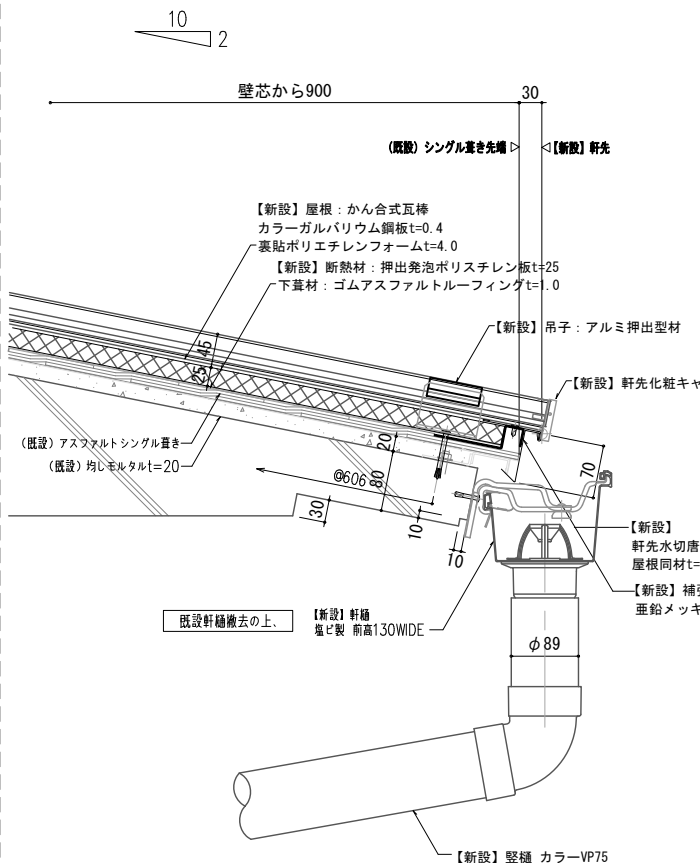
凡 例

----- ①	クラック (巾0.5mm以上巾1.0mm未満)
----- ①	クラック (巾1.0mm以上)
× ①	露筋
①	爆裂
①	欠損
①	その他

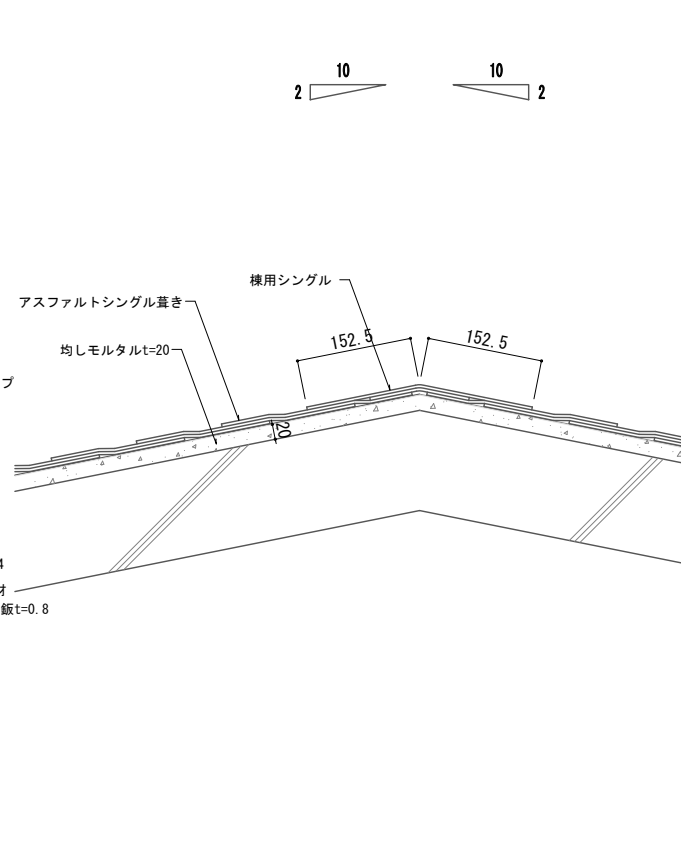
改修前



改修後

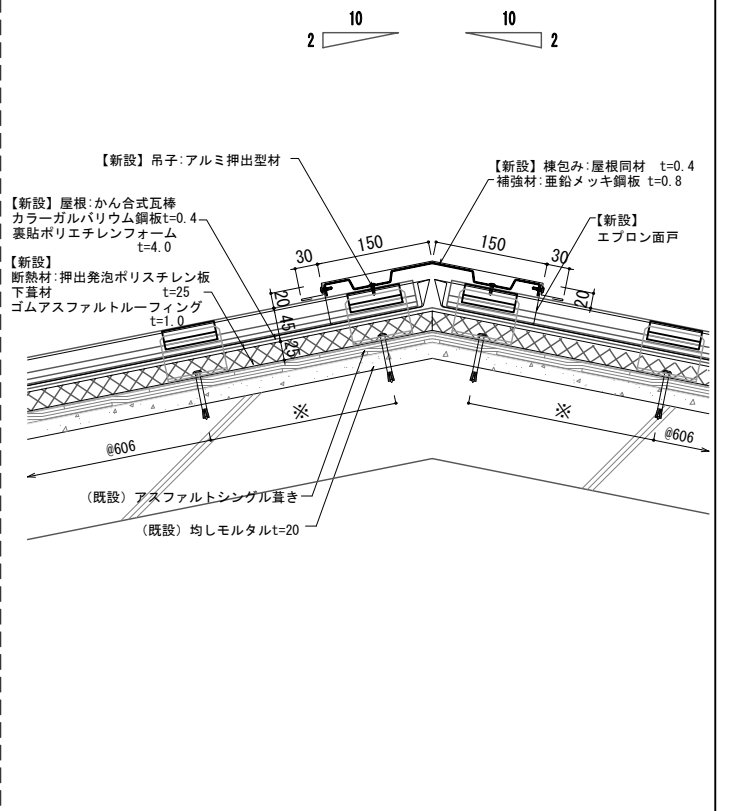


改修前

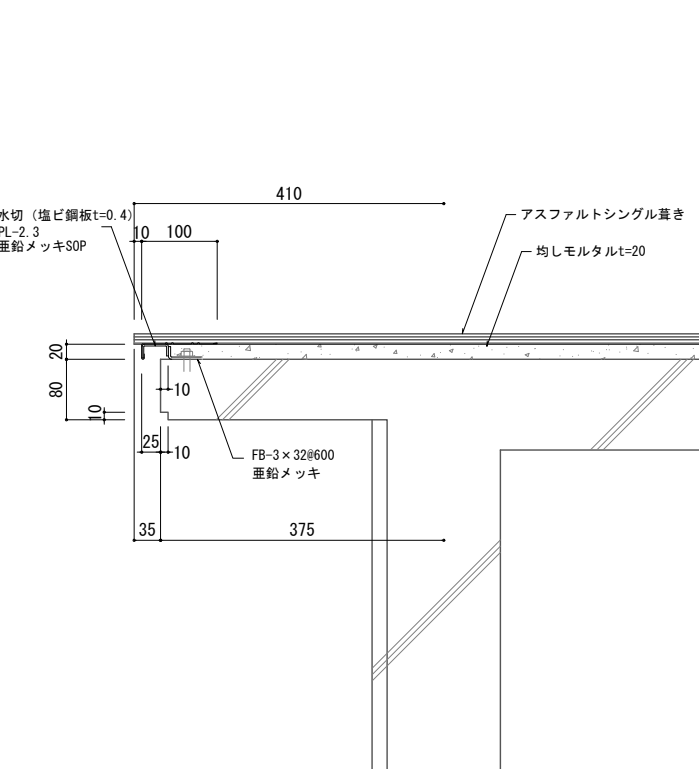


改修後

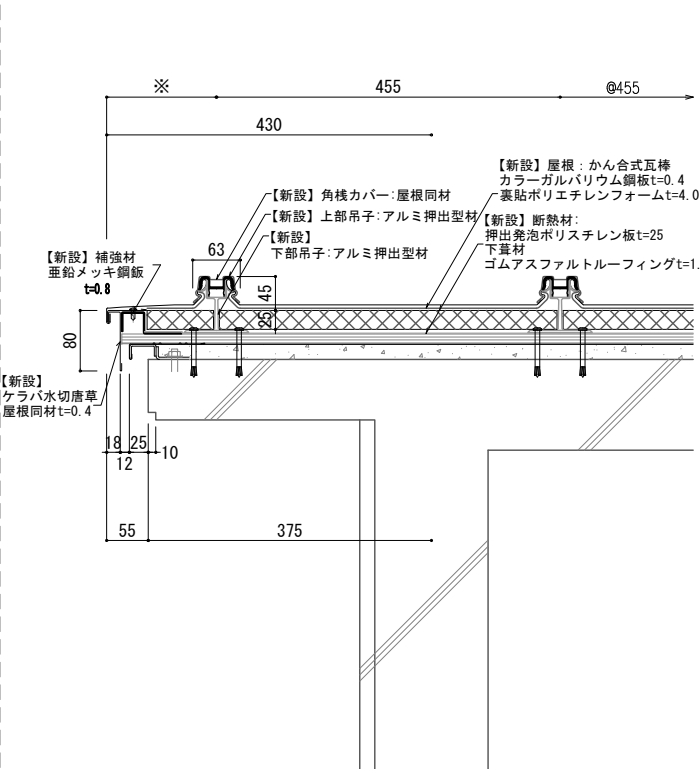
・※寸法は割付による



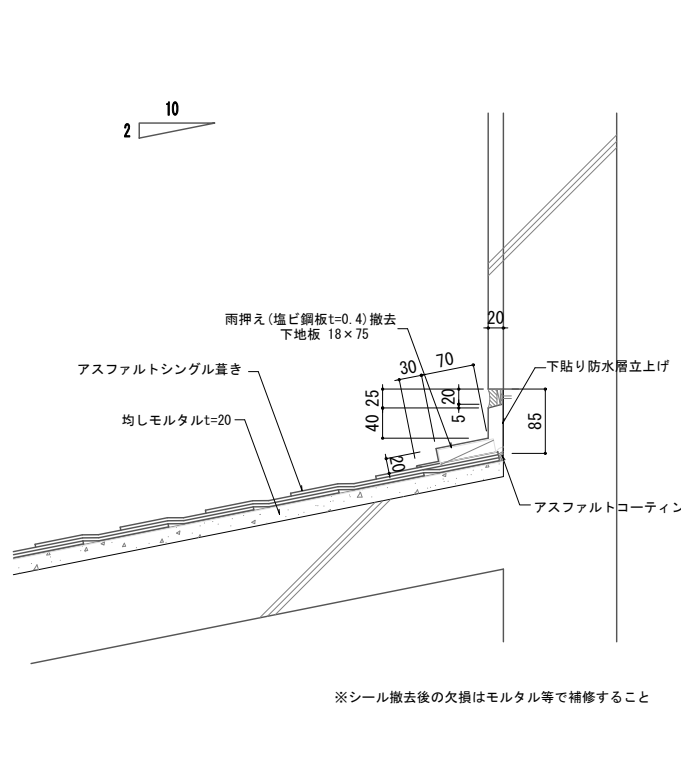
改修前



改修後

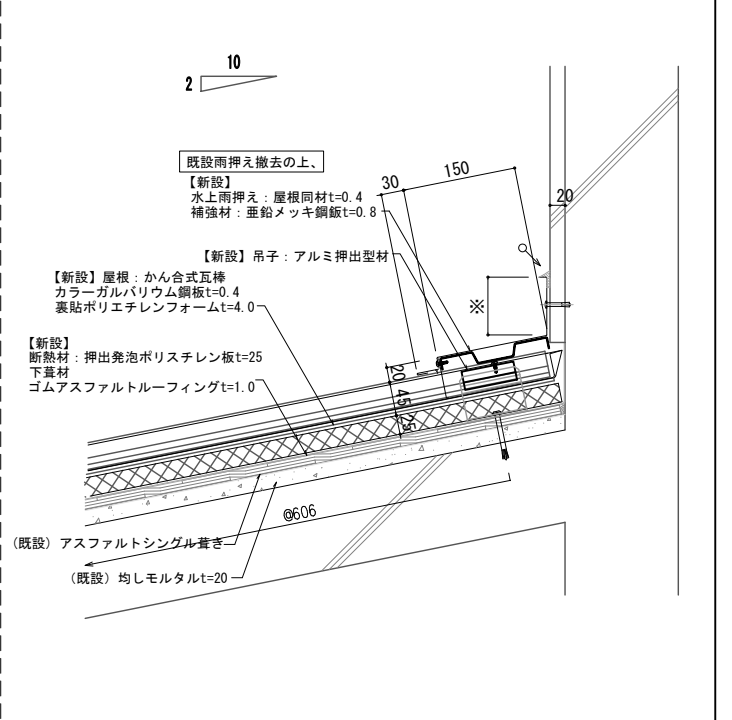


改修前



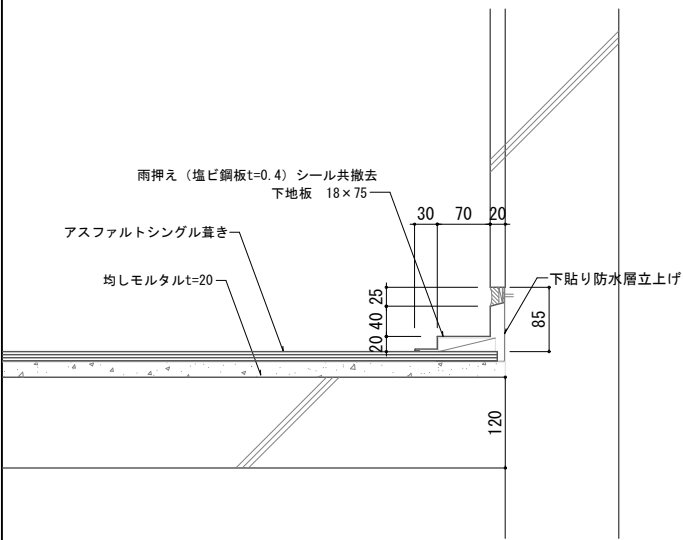
改修後

・※寸法は割付による



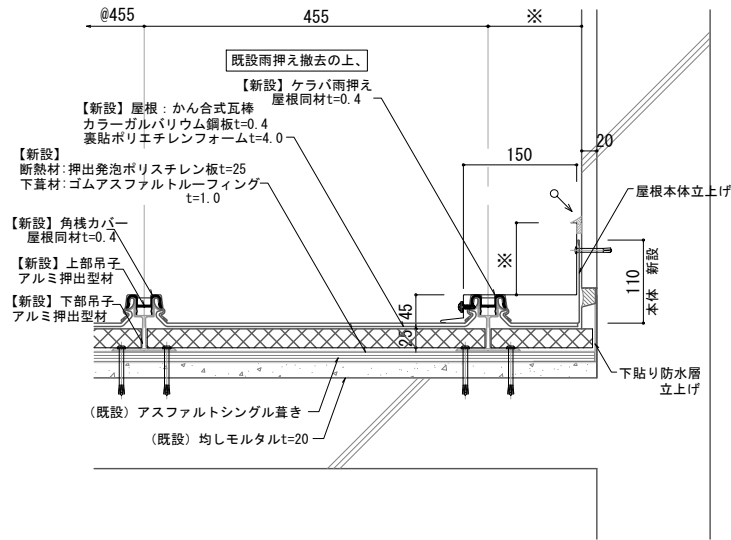
作成	承認				工事名称 町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（２期工事）	設計NO —	図面番号 A / 67
発行	作図				図面名称 【共通】 部分詳細図（１）	縮尺 A1: 1/5 A3: 1/10	

改修前



※シール撤去後の欠損はモルタル等で補修すること

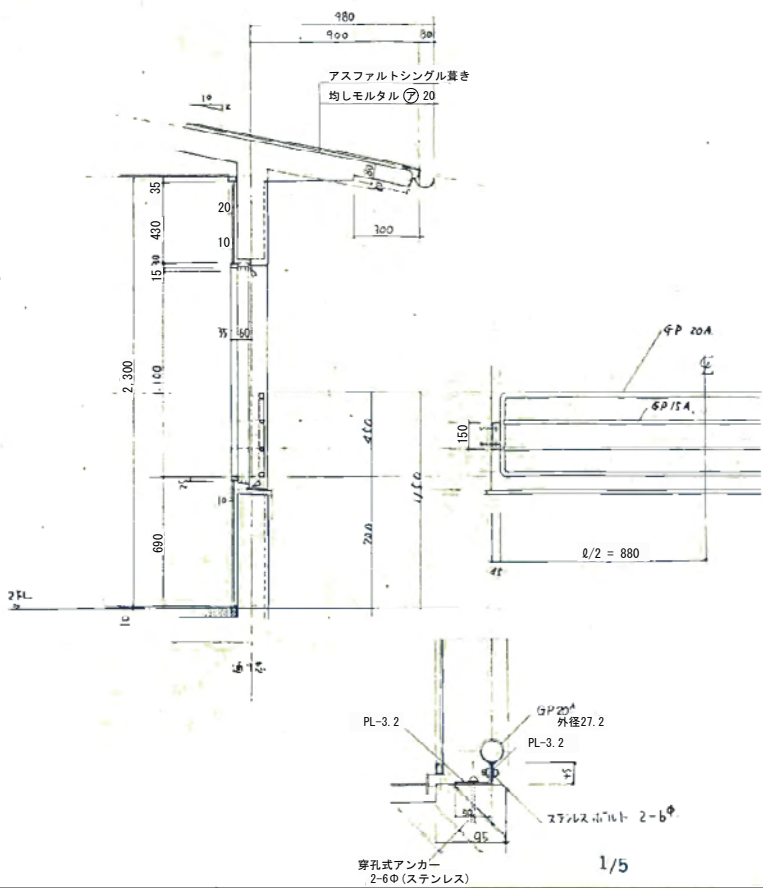
改修後



改修前

改修後

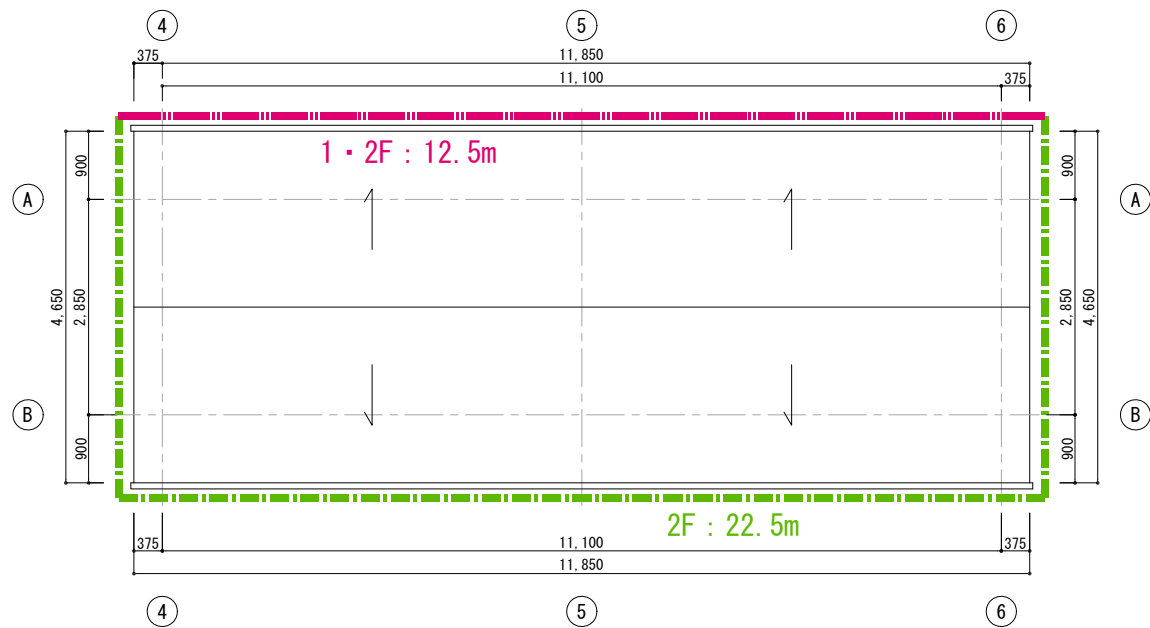
※鉄部は、錆止め除去の上下地調整を行いDP塗とする。



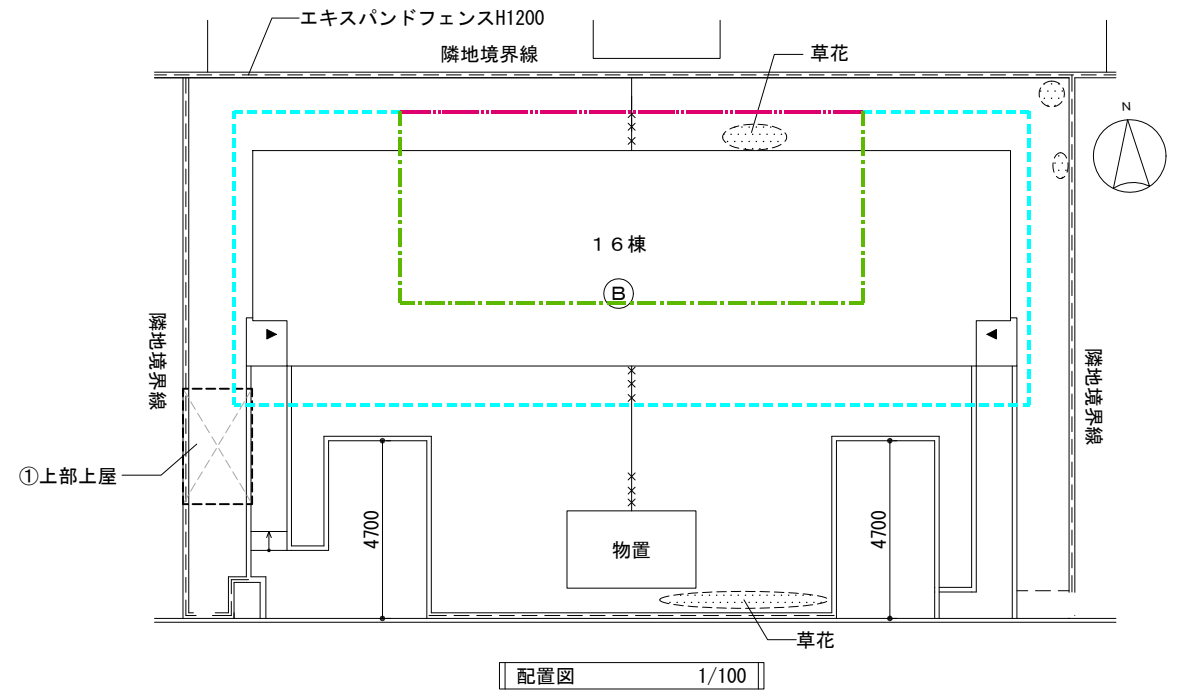
作成	承認		
発行	作図		

工事名称	設計NO
町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（2期工事）	—
図面名称	縮尺
【共通】 部分詳細図（2）	A1: 1/5 A3: 1/10

図面番号
A / 68



屋根伏図 1/50



配置図 1/100

＜ 仮撤去・復旧項目 ＞

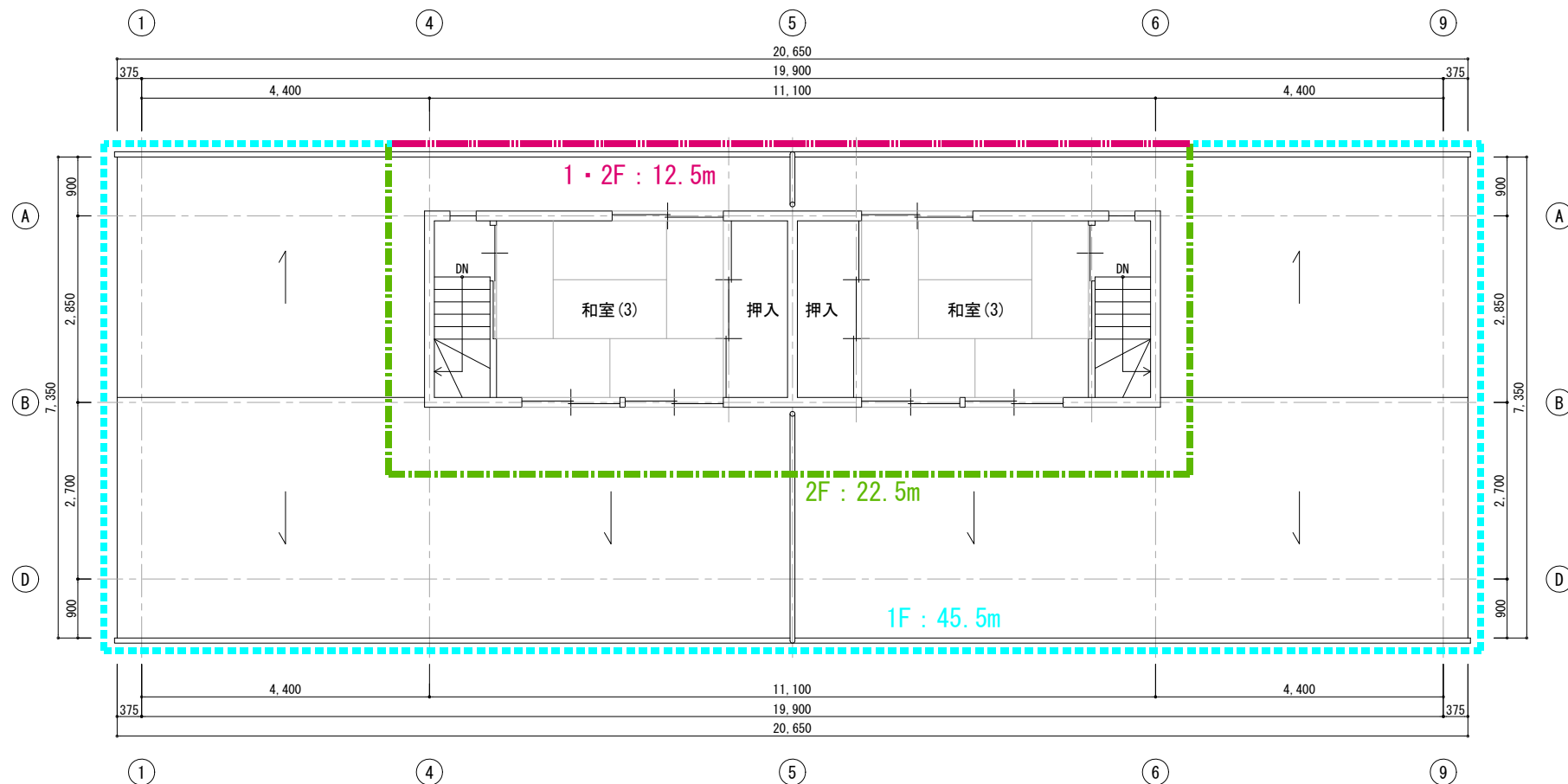
番 号	内 容
1	上屋 : 野地板の上テント張り: 仮撤去 復旧

＜ 凡例 ＞

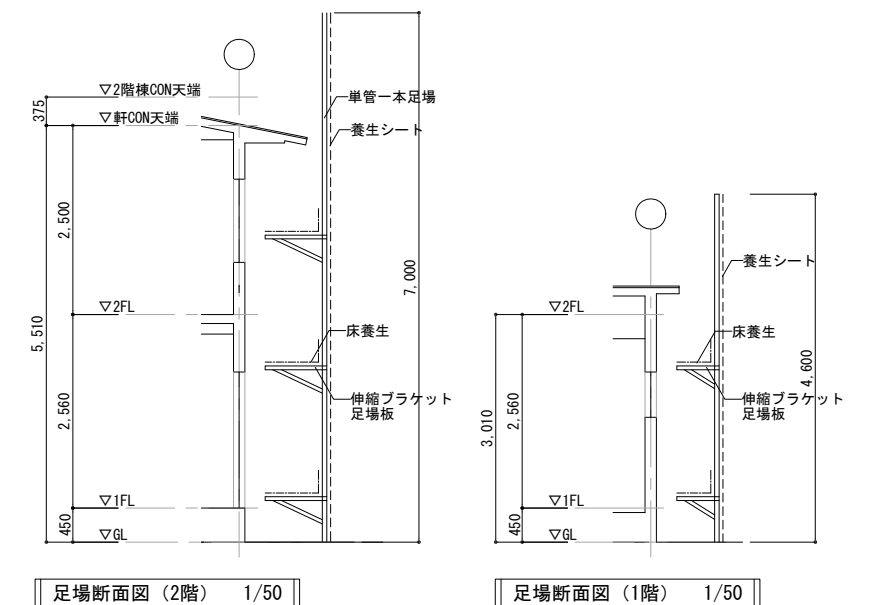
- *** フェンス仮撤去・復旧
- 植栽・植木鉢

＜ 注記 ＞

- 物置は外壁、屋根についてトップコートのみ塗装改修する
- 物置・外壁周囲の樹木、草は1m程度の範囲で枝うち及び除草を行うこと
- 物置・外壁に接するエキスパンドフェンス及びそれに類するものは1m程度の範囲についてフェンスのみ取り外し・再取付とする
- いずれも施工前に現調調査を実施し監督職員と協議の上必要な対策を行うこと



2 階平面図 1/50



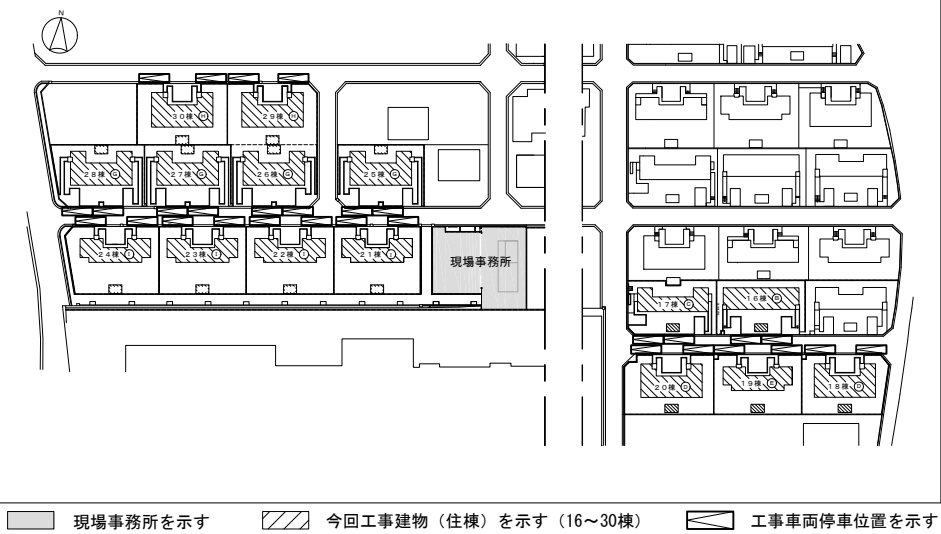
凡 例	
記 号	内 容
-----	足場 (1階) の範囲を示す。
-----	足場 (1・2階) の範囲を示す。
-----	足場 (2階) の範囲を示す。

※足場は単管ブラケット足場とする。
※玄関廻りは養生シートにて区画すること。

参 考

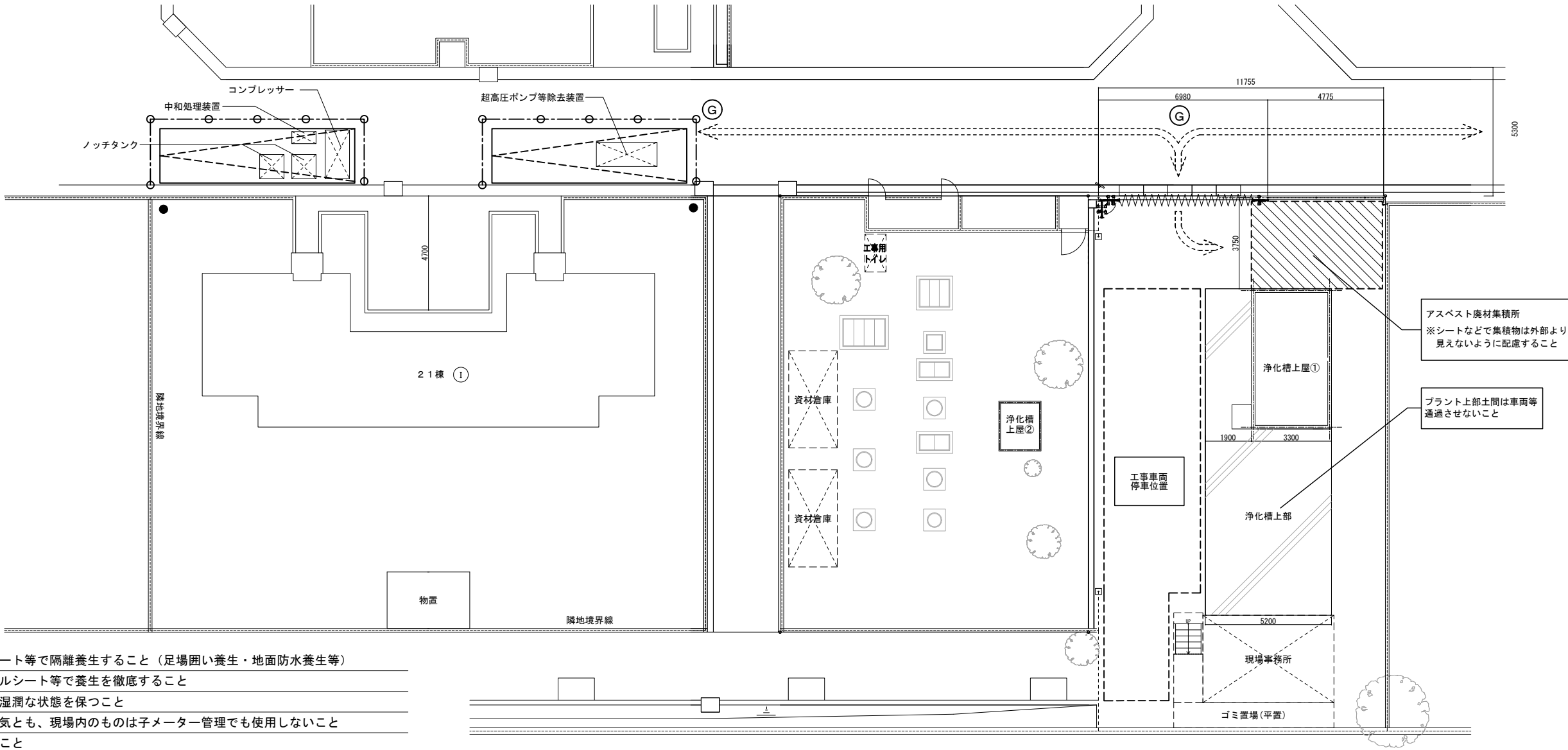
	作成	承認	工事名称 町営多奈川平野北住宅長寿化改修工事 (2期工事)	設計NO —	図面番号 A / 69
	発行	作図			
			図面名称 1 6 棟 【Bタイプ】 配置図兼仮設計画図＜参考＞	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	

全体配置図



アスベスト除去 仮設計画〈参考〉

高圧水洗工法 及び 集じん装置付きディスクグライダーケレン水洗工法(湿式)の併用により、常時湿潤状態にて施工すること



- ※当該作業を行う場所はビニールシート等で隔離養生すること（足場囲い養生・地面防水養生等）
- ※窓等の開口部は、目張りやビニールシート等で養生を徹底すること
- ※除去作業中の石綿含有建材は常時湿潤な状態を保つこと
- ※工事用水道(仮設水道)、工事用電気とも、現場内のものは子メーター管理でも使用しないこと
請負者にて引き込み、設置等すること
- ※道路の使用に当たっては関係機関と協議のうえ必要な手続きを行うこと
- ※作業しない時は現場事務所敷地内で車両を留置
- ※作業終了ごとに発生材を集積所に収集すること（住棟付近に置かないこと）

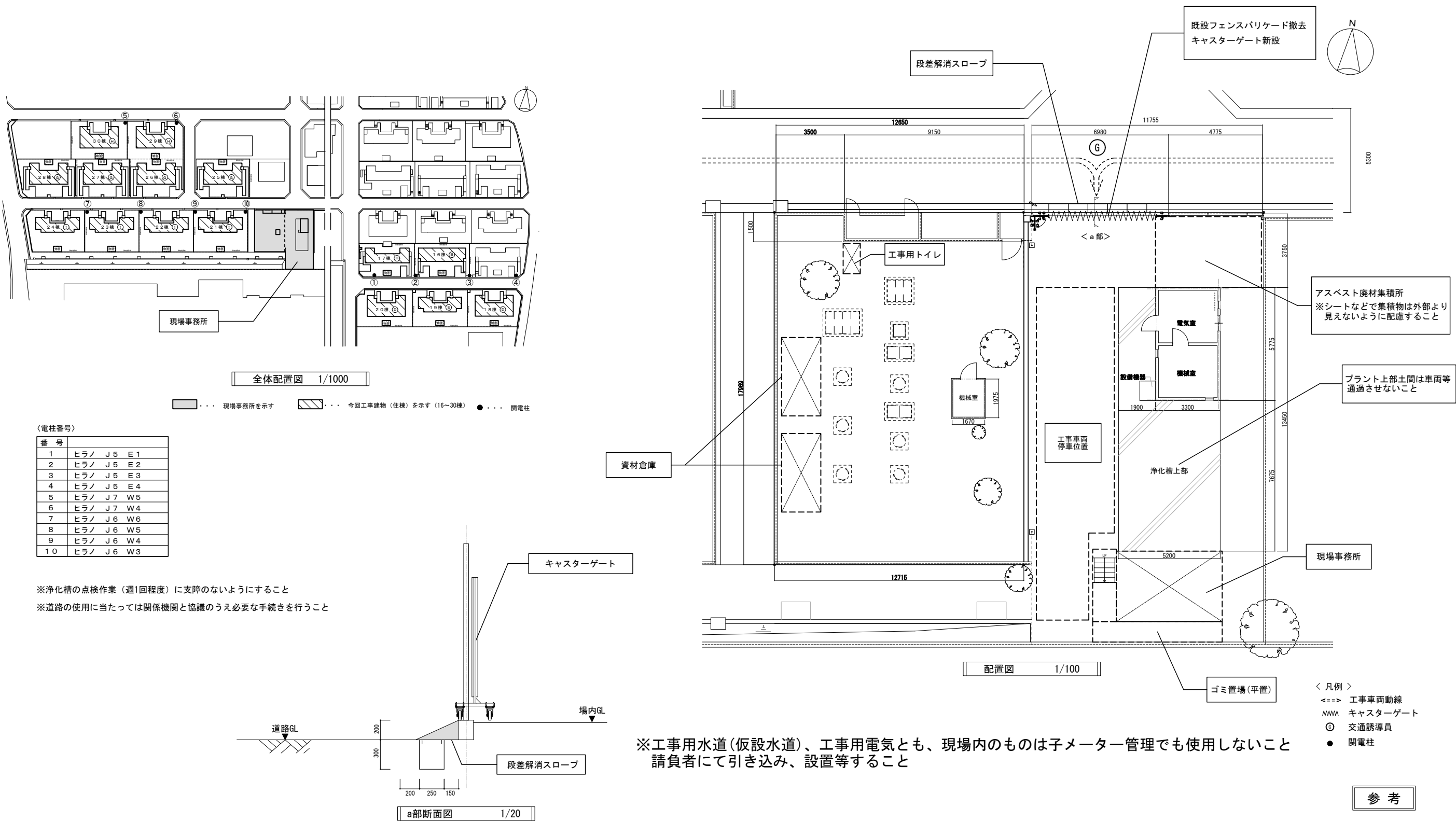
【工法メーカーの例】
(株) マルホウ / ウォータークリーン (株) / DKマテリアル (株) / (株) 鴻友建設

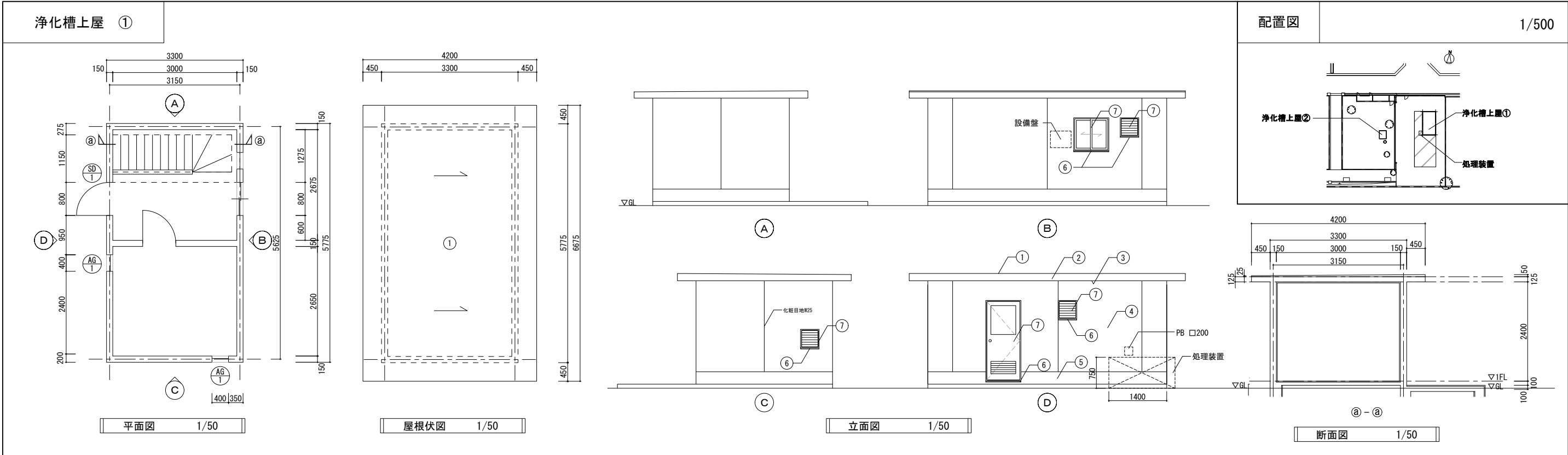
- 〈 凡例 〉
- 工事車両
 - 工事車両動線
 - キャスターゲート
 - 交通誘導員
 - 関電柱
 - カラーコーン・パー

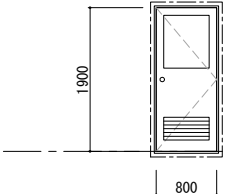
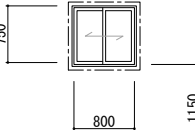
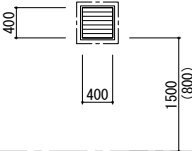
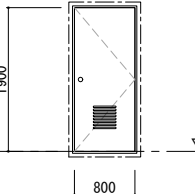
参考

		作成	工事名称	設計NO	図面番号
			町営多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（２期工事）	—	
		発行	図面名称	縮尺	
			【21棟】アスベスト除去仮設計画図〈参考〉	A1: 1/100 A3: 1/200	A / 84

現場事務所仮設計画図＜参考＞





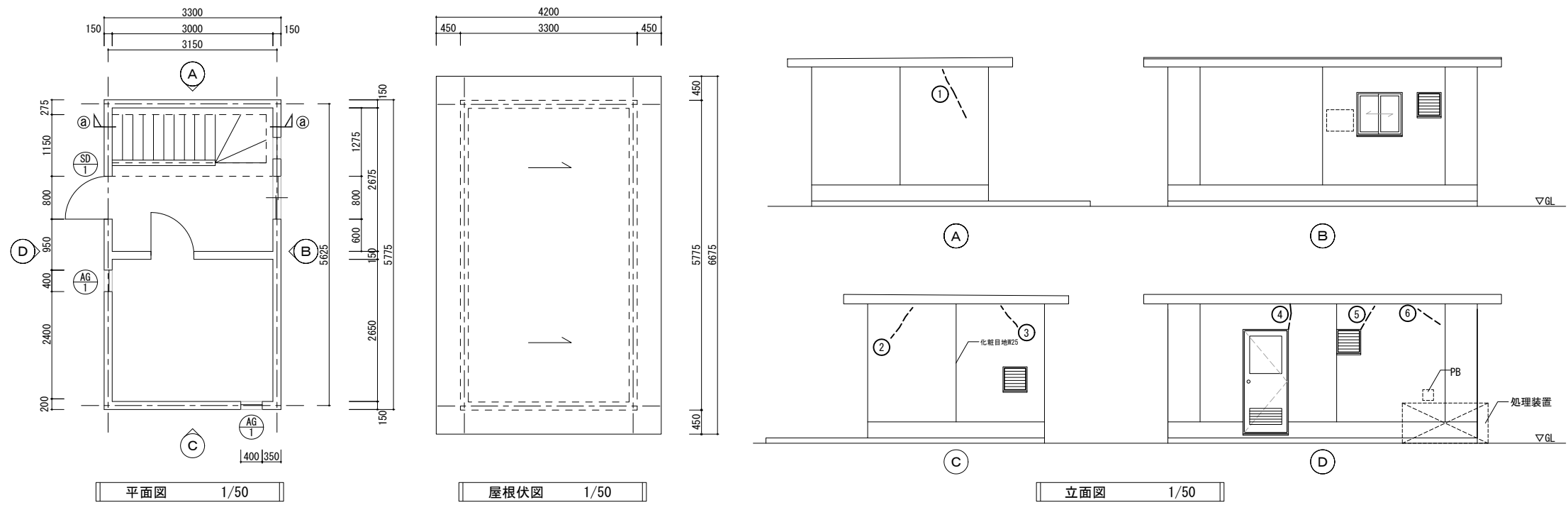
記号	型式	個数	<div><div>SD</div><div>1</div></div> 片開キスチール額入腰ガラリ付ドア	1ヶ所	<div><div>AW</div><div>1</div></div> 引違イアルミサッシ	1ヶ所	<div><div>AG</div><div>1</div></div> 固定アルミガラリ	3ヶ所	<div><div>SD</div><div>2</div></div> 片開キスチールドア	1ヶ所
姿 図	----- ... シーリング打替え範囲を示す ＜撤去＞・＜新設＞				----- ... シーリング打替え範囲を示す ＜撤去＞・＜新設＞		----- ... シーリング打替え範囲を示す ＜撤去＞・＜新設＞		----- ... シーリング打替え範囲を示す ＜撤去＞・＜新設＞	
										
	800				800		400		800	
仕 上 見 込	扉・枠共＜撤去＞＜新設＞			86	アルマイト処理	70	アルマイト処理	70	扉・枠共：錆び除去・下地調整の上、DP塗	86
金 物	丁番 ドアチェック シリンダー本締錠				付属部品一式		-		丁番 ドアチェック シリンダー本締錠	
ガラス	ラフワイヤー 6.8mm				ラフワイヤー 6.8mm		-			
備 考										

【外部仕上表】

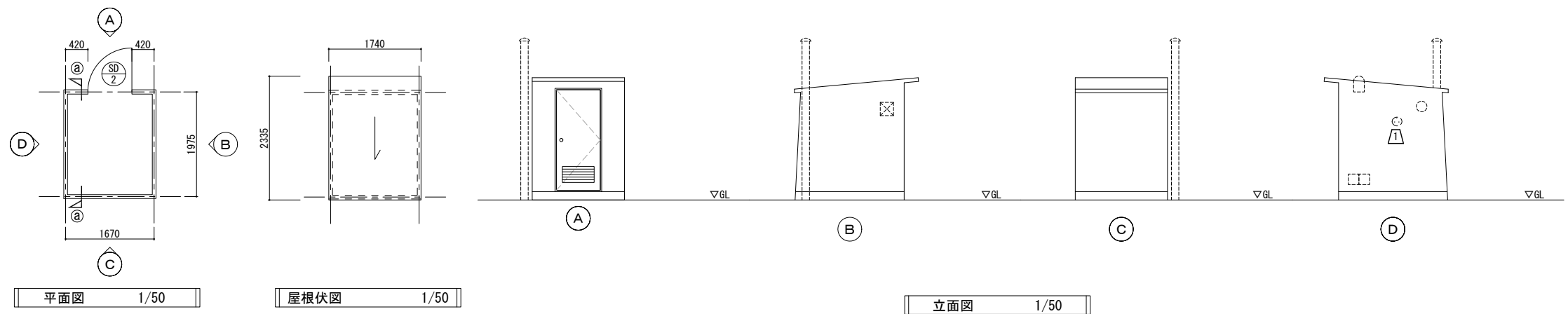
場 所	改修記号	既 設	下地処理など	改 修	備 考
屋根	①	防水モルタル金コテ押エ t25～50 (既設のまま存置)	ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修	水洗いの上、塗膜防水	
軒先	②	防水モルタル金コテ押エ t25 (既設のまま存置)	ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修	水洗いの上、塗膜防水	
軒裏	③	コンクリート打放シノ上 リシン吹付	ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修	水洗いの上、トップコートのみ	ケレンRB
外壁	④	コンクリート打放シ(打増シ t25)ノ上リシン吹付	ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修	水洗いの上、トップコートのみ	ケレンRB
巾木	⑤	防水モルタル金コテ押エ t25	ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修	-	
腰	⑥	防水モルタル金コテ押エ	ひび割れ・浮き・欠損等、劣化部の改修	水洗いの上、塗膜防水	
建具	⑦	スチール 見込 86 SOP アルミ 見込 70 アルミイト処理	扉・枠・窓ズリ：撤去 窓：シーリングのみ撤去	扉：アルミドア新設 窓：シーリングのみ打ち替え MS-2	
建具	⑧	スチール 見込 86 SOP	錆び除去の上、下地調整	DP塗 1級	

作成	工事名称	設計NO	図面番号
町宮多奈川平野北住宅長寿命化改修工事（2期工事）		—	A / 86
発行	図面名称	縮尺	
浄化槽施設 改修図 建具表 外部仕上表		A1: 1/50 A3: 1/100	

浄化槽上屋 ①



浄化槽上屋 ②



< クラック (巾0.5mm以上1.0mm未満) >

番 号	長さ (m)
①	1.00
②	0.70
③	0.50
④	0.70
⑤	0.50
⑥	0.50

< その他 >

番 号		W x H x D (m)
①	穴	0.02 x 0.02 x 0.01

凡 例

----- ①	クラック (巾0.5mm以上巾1.0mm未満)
①	その他

